

令和5年度第1回安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会 次第

日時 令和5年7月27日（木）

午後1時30分から午後2時50分まで

場所 安城市役所本庁舎3階第10会議室

1 会長あいさつ

2 委員紹介・辞令交付

3 議題

（1）あんジョイプラン9の進捗状況について（報告）：資料P6～44

（2）令和4年度介護保険事業特別会計決算状況（案）について（報告）

：資料P45～47

（3）令和4年度地域包括支援センター事業の事業報告及び決算状況（案）について（報告）：資料P48～49

（4）介護予防支援業務の一部委託について（承認）：資料P50

4 顧問講評

5 その他（次回予定について）

（1）会議名

令和5年度第2回安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会及び
第1回安城市地域包括ケア協議会

（2）日 時 令和6年3月27日（水）午後1時30分から

（3）場 所 安城市役所本庁舎3階第10会議室

安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会委員名簿
安城市地域包括ケア協議会委員名簿

委嘱期間 令和3年7月1日から3年間

区分	職名	氏名
学識経験者	安城市社会福祉協議会会長	◎神谷 明文
医療関係者	安城市医師会会長	○岡本 雅彦
	安城市歯科医師会会長	大場 茂
	安城市薬剤師会会長	服部 宏明
	安城更生病院事務部長	池田 真紀
	八千代病院事務長	山口 久代
福祉関係者	安城市民生・児童委員協議会会長	杉浦 正之
	安城市ボランティア連絡協議会 副会長	野上 三香子
	特別養護老人ホーム安寿の郷ホーム 施設長	入口 孝行
保健関係者	介護老人保健施設さとまち	福部 敦史
被保険者代表	安城市老人クラブ連合会 副会長(第1部長)	富田 裕明
	安城市町内会長連絡協議会副会長	渡辺 和彦
	公募市民	高橋 成行
介護サービス 事業者等	ケアマネット	岡庭 直美

◎会長 ○副会長

安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会及び安城市地域包括ケア協議会 顧問

区分	職名	氏名
顧問	日本福祉大学名誉教授/佐久大学教授	野口 定久

安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会事務局名簿
令和5年度

所属等	氏名	備考
福祉部長	近藤 俊也	
福祉部次長	村藤 守	
福祉部高齢福祉課長	長谷 憲治	
福祉部高齢福祉課主幹	稲垣 豊彦	
福祉部高齢福祉課長補佐兼高齢福祉係長	黒野 修	
福祉部高齢福祉課長補佐兼介護給付係長	田中 俊介	
福祉部高齢福祉課地域支援係長	古居 英剛	
福祉部高齢福祉課介護保険係長	金子 聖	
福祉部高齢福祉課介護審査係長	松浦 道子	
福祉部高齢福祉課地域支援係専門主査	早川 敦	
福祉部高齢福祉課介護保険係主事	浅井 晶子	

オブザーバー

所属等	氏名	備考
社会福祉協議会総務課長	杉本 修	
社会福祉協議会地域福祉課長	小林 博史	

安城市附属機関の設置に関する条例

平成25年12月24日安城市条例第34号
最終改正 令和4年3月25日安城市条例第10号

(趣旨)

第1条 この条例は、法律若しくはこれに基づく政令又は他の条例に定めるもののほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、附属機関の設置に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 別表執行機関の欄に掲げる執行機関に、同表名称の欄に掲げる附属機関を置く。

(担当事務)

第3条 附属機関の担任する事務は、別表担当事務の欄に掲げるとおりとする。

(委員)

第4条 附属機関の委員（以下この条において「委員」という。）の定数は、別表委員定数の欄に掲げるとおりとする。

2 委員は、別表委員構成の欄に掲げる者のうちから、附属機関の属する執行機関が委嘱し、又は任命する。

3 委員の任期は、別表委員任期の欄に掲げるとおりとし、再任を妨げない。委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、附属機関の組織、運営その他必要な事項は、当該附属機関の属する執行機関が別に定める。

附 則

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

2 次に掲げる条例は、廃止する。

(1) 安城市特別職報酬等審議会条例（昭和39年条例第44号）

(2) 安城市総合計画審議会条例（昭和40年条例第19号）

(3) 安城市住居表示審議会条例（昭和38年条例第28号）

(4) 安城市青少年問題協議会条例（昭和34年条例第17号）

(5) 安城市スポーツ推進審議会条例（昭和53年安城市条例第58号）

3 この条例の施行の際現にこの条例の規定により設置された附属機関に相当する附属機関等（以下「旧附属機関等」という。）の委員である者は、この条例の施行の日に、この条例の規定により設置された附属機関の委員として委嘱され、又は任命されたものとみなす。この場合において、これらの委員の任期は、第4条第3項前段の規定にかかわらず、旧附属機関等の委員の残任期間とする。

附 則（平成27年3月25日安城市条例第1号）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年9月29日安城市条例第34号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成28年9月29日安城市条例第39号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成28年12月26日安城市条例第50号）

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月24日安城市条例第12号）

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年9月28日安城市条例第34号）

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(安城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

3 2 安城市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年条例第18

号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則 (平成30年3月27日安城市条例第8号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成30年6月26日安城市条例第35号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成31年3月27日安城市条例第1号)
この条例は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年9月30日安城市条例第31号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (令和3年3月26日安城市条例第1号)
この条例は、令和3年4月1日から施行する。

附 則 (令和4年3月25日安城市条例第10号)
この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表 (第2条―第4条関係) (抜粋)

執行 機関	名称	担当事務	委員 定数	委員構成	委員 任期
市長	安城市介護保 険・地域包括支 援センター運営 協議会	介護保険事業計画及び高齢 者福祉計画の推進等並びに 地域包括支援センターの設 置、運営等に関する事項の 調査審議	15人 以内	学識経験を有する者 福祉、医療又は保健の関係者 介護サービス事業者又は介護予防 サービス事業者を代表する者 介護保険の被保険者 その他市長が必要と認める者	3年

安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会規則

平成26年1月24日安城市規則第12号

最終改正 平成27年8月3日安城市規則第26号

(趣旨)

第1条 この規則は、安城市附属機関の設置に関する条例（平成25年安城市条例第34号）第5条の規定に基づき、安城市介護保険・地域包括支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第2条 協議会は、市長の諮問に応じ、安城市附属機関の設置に関する条例別表に定めるその担任する事務について、意見を述べるものとする。

(会長及び副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は、委員のうちから会長が指名する。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(顧問)

第4条 協議会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、学識経験を有する者のうちから市長が委嘱する。

(会議)

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第6条 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求めてその説明若しくは意見を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができる。

(部会)

第7条 協議会に部会を置くことができる。

2 部会は、会長が指名する4人以内の委員で組織する。

3 協議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって、協議会の議決とすることができる。

(部会長)

第8条 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

2 部会長は、部会を総理し、部会の議長となる。

3 部会長に事故あるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長が指名する部会に属する委員が、その職務を代理する。

(部会の会議)

第9条 第5条の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「協議会」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、「委員」とあるのは「部会に属する委員」と読み替えるものとする。

(庶務)

第10条 協議会の庶務は、福祉部高齢福祉課において処理する。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が別に定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年8月3日安城市規則第26号）

この規則は、公布の日から施行する。

あんジョイプラン 9
(第 8 次安城市高齢者福祉計画・第 8 期安城市介護保険事業計画)
進捗状況報告書

－令和 4 年度（計画 2 年目）－

1 あんジョイプラン 9 について

(1) 計画策定時期

令和 3 年 3 月

(2) 計画期間

令和 3 年度から令和 5 年度まで

(3) 計画の見直し

3 年を 1 期とした計画を 3 年ごとに見直すこととしています。

(4) 計画の進捗状況管理

介護保険・地域包括支援センター運営協議会に報告するとともに、次期計画の参考資料とします。

2 計画の体系について

本計画では、基本理念である「健康で生きがい・ふれあい・安心を育むまち」を実現するため、次のように基本目標を設定し、それぞれの基本目標に対応する施策を体系づけて、事業を推進していきます。さらに、重点的に対応していくもの 4 項目を重点項目として定め、高齢者福祉施策を運営していきます。

【資料 1 ①】

(1) 計画の体系

基本目標	施 策
1 介護予防・生活支援施策の推進	1－1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
	1－2 認知症施策の推進
	1－3 家族介護者に対する支援
	1－4 医療と介護連携の推進
	1－5 安心と自立を目指した日常生活への支援
	1－6 権利擁護等
2 地域における支え合いと社会参加の推進	2－1 住民主体の地域福祉活動の支援
	2－2 健康づくりの推進
	2－3 生きがいづくりの支援
	2－4 在宅生活の支援
	2－5 住環境の整備
	2－6 安全対策の推進
3 介護保険サービスの安定と充実	3－1 介護人材の確保・離職防止
	3－2 的確で質の高いサービスの提供
	3－3 介護保険事業の円滑な運営

(2) 重点項目

	重点項目を達成するための方策
① 安城市版地域包括ケアシステムの推進	1－5 安心と自立を目指した日常生活への支援
	2－1 住民主体の地域福祉活動の支援
② 多様な介護予防・日常生活支援の推進	1－1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
	1－5 安心と自立を目指した日常生活への支援
③ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築	1－4 医療と介護連携の推進
④ 認知症高齢者等に対する支援	1－1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
	1－2 認知症施策の推進
	1－6 権利擁護等
	2－1 住民主体の地域福祉活動の支援

3 進捗状況報告書の内容

- (1) 進捗状況報告書においては、本計画に位置付けられた個別の事業の進捗状況を「施策・個別事業」(資料 1－2・1－3)、「介護保険事業計画」(資料 1－4)、「施設整備計画」(資料 1－5)に沿って、各事業の進捗状況を記載しています。
- (2) 「施策・個別事業」については、本計画書の第 4 章に沿って基本目標に位置付けられた事業として、「介護予防・生活支援施策の推進」3 1 事業、「地域における支え合いと社会参加の推進」4 7 事業、「介護保険サービスの安定と充実」1 4 事業の計 9 2 事業を掲載しています。各事業において、計画目標を掲げたものは実績及び計画目標の達成率を、計画目標を掲げていないものについては実施状況を記載しました。また、進捗状況の結果に対する事業評価を記載しています。
- (3) 「介護保険事業計画」については、本計画書の第 5 章に沿って項目ごとの推計値や目標量に対する各年度の実績、達成率及び現状の評価を記載しています。
- (4) 「施設整備計画」は、年度ごとの目標量の設定はありませんが、本計画書第 6 章に沿って令和 3 年度末時点における施設整備の実施状況を記載しています。

あんジョイプラン9 数値目標一覧表（令和3年度～令和5年度）

			実績		計画比(達成率)		計画
事業番号	個別事業名	事業内容（数値で管理できるもの）	R3	R4	R3	R4	
1-1-3	短期集中型介護予防サービス	短期集中型介護予防サービス利用者実人数（人）	93	100	<u>103.33%</u>	<u>111.11%</u>	90
1-1-5	自立支援サポート会議～みんなでもう一歩～	自立支援サポート会議での検討ケース数（件）	10	10	27.78%	27.78%	36
1-1-8	地域介護予防活動支援事業	町内健康体操教室実施か所数（か所）	56	59	74.67%	78.67%	75
1-1-9	地域リハビリテーション活動支援事業	地域リハビリテーション活動支援事業実施数（回）	129	130	<u>161.25%</u>	<u>162.50%</u>	80
1-1-10	リハビリ専門職によるアセスメント支援事業	リハビリ専門職によるアセスメント支援実施数（件）	21	15	43.75%	31.25%	48
1-2-1	認知症初期集中支援推進事業	認知症初期集中支援チームによる支援終結時に医療・介護認定等の支援につながった人の割合（％）	100.0	100.0	<u>125.00%</u>	<u>125.00%</u>	80.0
1-2-2	認知症高齢者見守り事業	見つかるつながるネットワーク登録者数（累計：人）	314	348	87.22%	96.67%	360
1-2-3	認知症サポーターの養成と活用（「チームオレンジ」の整備）	認知症サポーター養成講座（回）	11	23	44.00%	92.00%	25
1-2-3	認知症サポーターの養成と活用（「チームオレンジ」の整備）	認知症サポーターステップアップ講座修了者数（累計：人）	97	115	65.54%	77.70%	148
1-2-4	認知症カフェの充実	認知症カフェか所数（累計：か所）	10	11	71.43%	78.57%	14
1-3-1	在宅ねたきり高齢者等介護人手当事業	在宅ねたきり高齢者等介護人手当事業（人）	507	538	85.93%	91.19%	590
1-3-2	おむつ費用助成事業	おむつ費用助成事業（人）	481	519	82.93%	89.48%	580
1-4-2	看取り体制構築のための研修と市民啓発	市民のACP認知度（％）	19.1	23.2	63.67%	77.33%	30.0
1-4-3	ICT を活用した情報連携	サルビー見守りネット登録療養者数（人）	460	614	98.92%	<u>132.04%</u>	465
1-5-1	地域ケア会議	地域ケア個別会議（困難ケース解決型）の開催回数（回）	102	85	42.50%	35.42%	240
1-5-1	地域ケア会議	地域ケア個別会議（自立支援検討型）の開催回数（回）	92	113	95.83%	<u>117.71%</u>	96
1-5-2	生活支援サービスの体制整備	認定者、事業対象者を主な対象とした住民活動（団体数）	11	12	<u>110.00%</u>	<u>120.00%</u>	10
1-5-2	生活支援サービスの体制整備	生活支援ネットワーク会議開催数（回）	29	37	<u>181.25%</u>	<u>231.25%</u>	16
1-5-4	高齢者地域生活支援促進事業	高齢者地域生活支援促進事業 利用団体（数）	46	55	85.19%	<u>101.85%</u>	54
2-1-4	サロンの開催支援	月1回以上開催のサロン数	195	207	<u>126.62%</u>	<u>134.42%</u>	154
2-1-5	住民組織と福祉団体・福祉事業者とのマッチング	住民組織と福祉団体・福祉事業者とのマッチング件数	103	141	<u>103.00%</u>	<u>141.00%</u>	100
2-2-1	後期高齢者医療健康診査・特定健康診査	後期高齢者医療健康診査実施率（％）	44.5	45.1	98.89%	<u>100.22%</u>	45
2-3-1	老人クラブへの支援	老人クラブ数（団体）	97	94	97.00%	94.00%	100
2-3-1	老人クラブへの支援	会員数（人）	9,770	9,180	97.70%	91.80%	10,000
2-3-3	高齢者社会参加促進事業	あんくるバス後期高齢者月平均利用者数（人）	11,494	13,455	76.88%	90.00%	14,950
2-3-5	シルバー人材センターの支援・雇用の場の確保	シルバー人材センター登録会員数（人）	1,096	1,068	<u>101.67%</u>	99.07%	1,078
2-3-8	高齢者教室	高齢者教室の教室数（教室）	11	11	<u>110.00%</u>	<u>110.00%</u>	10
2-3-9	シルバーカレッジ	シルバーカレッジのクラス数（クラス）	2	2	<u>100.00%</u>	<u>100.00%</u>	2
2-3-10	地域における高齢者スポーツの推進	グラウンド・ゴルフ協会会員数（人）	179	141	54.24%	42.73%	330
2-3-10	地域における高齢者スポーツの推進	高齢者向けスクールの参加者数（人）	93	91	77.50%	75.83%	120
2-3-10	地域における高齢者スポーツの推進	歩け・ランニング運動の参加者数（人）	6,846	7,045	92.51%	95.20%	7,400
2-3-10	地域における高齢者スポーツの推進	おはよう！ふれあいラジオ体操会の参加者数（人）	9,506	15,391	88.84%	<u>143.84%</u>	10,700
2-3-11	「農」のある暮らしの促進	野菜づくり入門コース実施数（回）	2	2	<u>100.00%</u>	<u>100.00%</u>	2
2-3-12	福祉センター講座	福祉センター講座数（講座）	61	55	<u>135.56%</u>	<u>122.22%</u>	45
2-3-12	福祉センター講座	福祉センター講座受講者数（人）	3,896	3,629	51.95%	48.39%	7,500
2-3-13	福祉センターサロン	福祉センターサロン数（サロン）	66	65	<u>101.54%</u>	<u>100.00%</u>	65
2-3-13	福祉センターサロン	福祉センターサロン参加者数（人）	16,001	22,370	88.89%	<u>124.28%</u>	18,000
2-4-1	高齢者外出支援サービス事業	高齢者外出支援サービス事業 利用者数（人）	806	864	<u>122.12%</u>	<u>130.91%</u>	660
2-4-4	寝具乾燥事業	寝具乾燥事業の利用者数（人）	53	51	88.33%	85.00%	60
2-4-5	訪問理容サービス事業	訪問理容サービス事業 延利用者数（人）	54	56	<u>108.00%</u>	<u>112.00%</u>	50
2-4-8	高齢者軽度生活援助事業	高齢者軽度生活援助事業 月延利用者数（人）	1,166	1,244	93.28%	99.52%	1,250
2-4-9	日常生活用具給付貸与事業	介護支援ベッド貸与数（台）	12	11	60.00%	55.00%	20
2-4-9	日常生活用具給付貸与事業	高齢者用杖の給付数（本）	707	772	83.18%	90.82%	850
2-4-10	友愛訪問事業	友愛訪問事業 訪問者数（人）	196	179	76.86%	70.20%	255
2-4-11	福祉電話事業（電話訪問サービス）	福祉電話事業（電話訪問サービス）利用者数（人）	116	99	77.33%	66.00%	150
2-4-12	緊急通報装置設置事業	緊急通報装置設置数（台）	434	430	<u>100.46%</u>	99.54%	432
2-4-14	高齢者給食サービス事業	高齢者給食サービス配食数（食）	84,375	98,418	<u>106.80%</u>	<u>124.58%</u>	79,000
2-4-14	高齢者給食サービス事業	特別食（人）	41	41	68.33%	68.33%	60
2-4-14	高齢者給食サービス事業	普通食（人）	617	678	<u>102.83%</u>	<u>113.00%</u>	600
2-5-1	人にやさしい住宅リフォーム費助成事業	住宅リフォーム費助成実施数（件）	176	187	<u>100.57%</u>	<u>106.86%</u>	175
2-5-2	家具転倒防止器具取付事業	家具転倒防止器具取付設置数（世帯）	3	12	20.00%	80.00%	15
2-5-3	市営住宅高齢者向け住戸改善事業	住戸改善事業（戸：累計）	330	348	99.70%	<u>105.14%</u>	331
2-6-1	地域ぐるみの防災活動の推進	自主防災訓練への参加者数（人）	8,510	11,081	47.28%	61.56%	18,000
2-6-1	地域ぐるみの防災活動の推進	自主防災訓練の実施率（実施組織／全組織73）（％）	57.5	73.9	57.50%	73.90%	100.0
2-6-2	地区防災計画策定支援事業	地区防災計画の策定数（件）	3	6	60.00%	<u>120.00%</u>	5
2-6-4	防犯啓発活動の推進	高齢者対象の防犯教室の参加者数（人）	440	934	48.89%	<u>103.78%</u>	900
2-6-5	交通安全研修会	交通安全研修会参加者数（人）	27	95	27.00%	95.00%	100
3-1-4	介護関連資格取得等補助	介護関連資格取得補助事業交付件数（件）	2	7	20.00%	70.00%	10
3-2-1	介護給付等費用適正化事業	ケアプランチェック実施事業者数（か所／年）	6	11	60.00%	<u>110.00%</u>	10
3-2-1	介護給付等費用適正化事業	住宅改修実態調査数（件／年）	7	8	7.29%	8.33%	96
3-2-2	介護サービス事業者等への指導・監督	介護サービス事業者等への実地指導数（件）	14	38	34.15%	92.68%	41
3-2-3	ケアプラン指導研修事業	ケアプラン指導研修会開催数（回）	3	4	<u>150.00%</u>	<u>200.00%</u>	2
3-2-4	介護サービス相談員派遣事業	介護サービス相談員派遣数（回）	0	18	0.00%	3.60%	500
3-2-4	介護サービス相談員派遣事業	介護サービス相談員への相談数（人）	0	84	0.00%	1.57%	5,350
集計		項目数：64			20	28	

【資料 1 ③】

あんジョイプラン9（第8次安城市高齢者福祉計画・第8期安城市介護保険事業計画）

第4章 施策・個別事業

事業NO	1-1-1	訪問型サービス事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	介護予防訪問サービス事業所数（旧来相当訪問介護）22か所。年間利用者数のべ2,724人 生活支援訪問サービス事業所数（訪問型サービスA）14か所。年間利用者数のべ576人 住民主体による支援（訪問型サービスB）11か所。年間利用者数のべ510人（のべ人数が把握できない所は実人数）						
令和4年度	介護予防訪問サービス事業所数（旧来相当訪問介護）20か所。年間利用者数のべ2,749人 生活支援訪問サービス事業所数（訪問型サービスA）13か所。年間利用者数のべ545人 住民主体による支援（訪問型サービスB）12か所。年間利用者数のべ556人（のべ人数が把握できない所は実人数）						
＜事業評価＞							
令和3年度	介護予防訪問サービスは年間利用者が増えています。 生活支援訪問サービスについては年間利用者は微減ですがほぼ横ばいで推移しています。 住民主体による支援（訪問型サービスB）は年々増加していることから、互助の概念も広がっています。						
令和4年度	介護予防訪問サービスは年間利用者が増えています。 生活支援訪問サービスについては年間利用者は微減ですがほぼ横ばいで推移しています。 住民主体による支援（訪問型サービスB）は微増ではありますが、互助の概念が着実に広がっています。						

事業NO	1-1-2	通所型サービス事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	介護予防通所サービス事業所数（旧来相当）37か所。年間利用者数のべ7,224人 生活支援通所サービス事業所数（通所型サービスA）13か所。年間利用者数のべ671人 住民主体による通所型サービス（通所型サービスB）なし						
令和4年度	介護予防通所サービス事業所数（旧来相当）35か所。年間利用者数のべ8,119人 生活支援通所サービス事業所数（通所型サービスA）13か所。年間利用者数のべ623人 住民主体による通所型サービス（通所型サービスB）なし						
＜事業評価＞							
令和3年度	介護予防通所サービス、生活支援通所サービスともに利用者数が増加しています。 通所型サービスBは対象者が要支援者等に限定されており、利用者の正確な把握が難しいため実績が伸びないものの、一般介護予防事業としての通いの場活動で同様のサービス提供はできています。						
令和4年度	介護予防通所サービスは利用者数が増加しています。 通所型サービスBは対象者が要支援者等に限定されており、利用者の正確な把握が難しいため実績が伸びないものの、一般介護予防事業としての通いの場活動で同様のサービス提供はできています。						

事業NO	1-1-3	短期集中型介護予防サービス					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
短期集中型介護予防サービス利用者実人数（人）	93	100		103.3%	111.1%	-	90
＜事業評価＞							
令和3年度	日常生活に支障のある生活行為を改善し、介護予防に取り組めるよう、リハビリの専門職が3か月から6か月の短期間に集中して支援をするものです。効果を高めるため、利用者をサービス終了後に地域の「通いの場」につなげるなど、活動的な生活が送れるように地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携して実施しました。						
令和4年度	日常生活に支障のある生活行為を改善し、介護予防に取り組めるよう、リハビリの専門職が3か月から6か月の短期間に集中して支援をするものです。効果を高めるため、利用者をサービス終了後に地域の「通いの場」につなげるなど、活動的な生活が送れるように地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携して実施しました。						

【資料1 ③】

事業NO	1-1-4	介護予防ケアマネジメント					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	地域包括支援センターが要支援認定者及び事業対象者に対して、総合事業によるサービス等が適切に提供できるように、自立支援の視点によるアセスメントやケアプランの作成等のケアマネジメント（要支援認定者毎月約1,101件、総合事業対象者月平均約425件）を行いました。						
令和4年度	地域包括支援センターが要支援認定者及び事業対象者に対して、総合事業によるサービス等が適切に提供できるように、自立支援の視点によるアセスメントやケアプランの作成等のケアマネジメント（要支援認定者毎月約1,171件、総合事業対象者月平均約443件）を行いました。						
＜事業評価＞							
令和3年度	8つの地域包括支援センターで介護予防ケアマネジメントを行い介護予防ケアプラン等を作成しています。令和2年度は17,539件に対し、令和3年度は18,324件と785件増加しています。						
令和4年度	8つの地域包括支援センターで介護予防ケアマネジメントを行い介護予防ケアプラン等を作成しています。令和3年度は18,324件に対し、令和4年度は19,316件と992件増加しています。						

事業NO	1-1-5	自立支援サポート会議～みんなでもう一歩～					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
自立支援サポート会議での検討 ケース数（件）	10	10		27.8%	27.8%	-	36
＜事業評価＞							
令和3年度	自立型ケアマネジメントの強化、多職種の視点によるケアの質の向上を目的としています。個別の事例から高齢者の生活課題を把握し、地域課題の検討にもつなげていくことを目指し、事例からインフォーマル資源や専門職からの提案を共有しながら実施しました。また、実施内容や振り返りの方法について改良を重ねました。						
令和4年度	自立型ケアマネジメントの強化、多職種の視点によるケアの質の向上を目的としています。個別の事例から高齢者の生活課題を把握し、地域課題の検討にもつなげていくことを目指し、事例からインフォーマル資源や専門職からの提案を共有しながら実施しました。また、実施内容や振り返りの方法について改良を重ねました。						

事業NO	1-1-6	介護予防把握事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	介護予防・日常生活支援総合事業として、地域包括支援センターにおいて基本チェックリストを317件活用しました。						
令和4年度	介護予防・日常生活支援総合事業として、地域包括支援センターにおいて基本チェックリストを403件活用しました。						
＜事業評価＞							
令和3年度	各地域包括支援センターにおいて相談や実態把握の場などで基本チェックリストを活用し、早期の対応が望ましい高齢者の把握に努めました。基本チェックリストを実施した317件のうち、身体機能の低下などが見られる事業対象者は193件でした。						
令和4年度	各地域包括支援センターにおいて相談や実態把握の場などで基本チェックリストを活用し、早期の対応が望ましい高齢者の把握に努めました。基本チェックリストを実施した403件のうち、身体機能の低下などが見られる事業対象者は231件でした。						

【資料 1 ③】

事業NO	1-1-7	介護予防普及啓発事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課、健康推進課						
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	（高齢福祉課）介護予防の普及啓発のため、広報紙にフレイル予防に関する記事を掲載し、また、地域包括支援センター等でフレイル予防に関するパンフレットを配布することなどに取り組みました。						
令和4年度	（高齢福祉課）介護保険証送付用封筒等の裏面にフレイル予防に関する内容を記載するなど、無関心層への介護予防の普及啓発をしました。また、地域包括支援センターにおいても、チラシ等の作成や、地域で開催されているサロンなどに参加し、介護予防の普及啓発をしています。 （健康推進課）まちかど講座にて、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が介護予防の講話を行っています。						
＜事業評価＞							
令和3年度	（高齢福祉課）できるだけ多くの方に対し、必要な情報を効果的に提供できるようにという視点で、様々な機会や手段を通じて介護予防の普及啓発を行いました。						
令和4年度	（高齢福祉課）できるだけ多くの方に対し、必要な情報を効果的に提供できるようにという視点で、様々な機会や手段を通じて介護予防の普及啓発を行いました。 （健康推進課）まちかど講座を全84回実施し、2,276人（内65歳以上は2,177人）の参加がありました。参加者数は令和3年度と比較すると673人（内65歳以上は667人）増加しています。						

事業NO	1-1-8	地域介護予防活動支援事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課、社会福祉協議会						
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
町内健康体操教室実施か所数（か所）	56	59		74.7%	78.7%	-	75
＜事業評価＞							
令和3年度	【高齢福祉課】 すべての福祉センターにおいて介護予防講座（すっきり・しゃっきり健康教室等）を開催しました。また、町内公民館等に体操講師等を派遣し（町内健康体操教室）、筋力の維持向上のための体操や認知症予防のための指導等を行い、健康づくりへの意識高揚を図るとともに、高齢者が要介護状態等になることを予防するよう取り組みました。依然コロナ禍の影響は受けたものの、感染防止対策が定着してきたことにより、緊急事態宣言期間中などを除けば概ね実施できました。 【社会福祉協議会】 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止とする会場が多くありました。実施会場に対しては、感染防止対策が実施できているか確認を行いました。						
令和4年度	【高齢福祉課】 すべての福祉センターにおいて介護予防講座（すっきり・しゃっきり健康教室等）を開催しました。また、町内公民館等に体操講師等を派遣し（町内健康体操教室）、筋力の維持向上のための体操や認知症予防のための指導等を行い、健康づくりへの意識高揚を図るとともに、高齢者が要介護状態等になることを予防するよう取り組みました。コロナ禍の影響はありましたが、感染防止対策を行いながら概ね計画どおり実施できました。 【社会福祉協議会】 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止し、その後再開できていないところが8か所ありました。						

事業NO	1-1-9	地域リハビリテーション活動支援事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
地域リハビリテーション活動支援事業実施数（回）	129	130		161.3%	162.5%	-	80
＜事業評価＞							
令和3年度	地域の介護予防活動の担い手の育成や、支援を必要とする人への対応力の向上及び介護予防の取り組みを強化するため、住民主体の「通いの場」へのリハビリ専門職等による助言を実施しました。						
令和4年度	地域の介護予防活動の担い手の育成や、支援を必要とする人への対応力の向上及び介護予防の取り組みを強化するため、住民主体の「通いの場」へのリハビリ専門職等による助言等や関係機関との意見交換を実施しました。						

【資料1 ③】

事業NO	1-1-10	リハビリ専門職によるアセスメント支援事業					
基本計画の位置づけ	1-1 介護予防・日常生活支援総合事業の推進						
担当課	高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
リハビリ専門職によるアセスメント支援実施数（件）	21	15		43.8%	31.3%	-	48
≪事業評価≫							
令和3年度	地域包括支援センターが介護予防アセスメントをする際に、リハビリ専門職が同行訪問し、生活状況の把握とともにサービス利用者の自立を促す目標設定を支援等しました。						
令和4年度	地域包括支援センターが介護予防アセスメントをする際に、リハビリ専門職が同行訪問し、生活状況の把握とともにサービス利用者の自立を促す目標設定の支援等を行いました。						

事業NO	1-2-1	認知症初期集中支援推進事業					
基本計画の位置づけ	1-2 認知症施策の推進						
担当課	高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
認知症初期集中支援チームによる支援終結時に医療・介護認定等の支援につながった人の割合（％）	100.0	100.0		125.0%	125.0%	-	80.0
≪事業評価≫							
令和3年度	支援終了時に適切な医療や介護サービスへとつなげることができるよう、市と認知症初期集中支援チームで定期的な情報共有の場を設けるとともに、指導を行いました。						
令和4年度	支援終了時に適切な医療や介護サービスへとつなげることができるよう、市と認知症初期集中支援チームで定期的な情報共有の場を設けるとともに、指導を行いました。						

事業NO	1-2-2	認知症高齢者見守り事業					
基本計画の位置づけ	1-2 認知症施策の推進						
担当課	高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
見つかるつながるネットワーク登録者数（累計：人）	314	348		87.2%	96.7%	-	360
≪事業評価≫							
令和3年度	【地域支援係】GPSの貸与（実利用者数44人（年度末現在））とともに、見つかるつながるネットワークにより、重層的な支援を実施しています。また、令和2年6月から開始した認知症高齢者等個人賠償責任保険の登録者数は、214人（年度末現在）です。						
令和4年度	【地域支援係】GPSの貸与（実利用者数33人（年度末現在））とともに、見つかるつながるネットワークにより、重層的な支援を実施しています。また、令和2年6月から開始した認知症高齢者等個人賠償責任保険の登録者数は、256人（年度末現在）です。						

【資料1③】

事業NO	1-2-3	認知症サポーターの養成と活用（「チームオレンジ」の整備）						
基本計画の位置づけ		1-2 認知症施策の推進						
担当課		高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
認知症サポーター養成講座（回）		11	23		44.0%	92.0%	-	25
認知症サポーターステップアップ講座修了者数（累計：人）		97	115		65.5%	77.7%	-	148
≪事業評価≫								
令和3年度	町内会や職域の集まり、学校、児童クラブ等で認知症サポーター養成講座を開催しています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を一部控えた結果、養成講座の開催回数は少なくなりました。認知症サポーター数累計12,700人（年度末現在）							
令和4年度	町内会や職域の集まり、学校、サロン等で認知症サポーター養成講座を開催しています。コロナ禍の影響はありましたが、感染対策を行いながら実施した結果、養成講座の開催回数は前年度と比べ12回増えました。認知症サポーター数累計13,225人（年度末現在）							

事業NO	1-2-4	認知症カフェの充実						
基本計画の位置づけ		1-2 認知症施策の推進						
担当課		高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
認知症カフェか所数（累計：か所）		10	11		71.4%	78.6%	-	14
≪事業評価≫								
令和3年度	前年度より1か所増え、10か所となりました。また、認知症サポーター養成講座ステップアップ講座修了生を対象に認知症カフェを見学する事業を実施し、担い手とのマッチングに努めました。							
令和4年度	前年度より1か所増え、11か所となりました。また、認知症カフェの充実に向けて活動者交流会を開催し、活動者の支援に努めました。							

事業NO	1-2-5	従事者向け認知症対応力向上研修等の実施					
基本計画の位置づけ		1-2 認知症施策の推進					
担当課		高齢福祉課					
≪事業の進捗状況≫							
令和3年度	コロナ禍のため、従事者向け研修の開催はできませんでした。						
令和4年度	コロナ禍の影響もあり、従事者向け研修の開催はできませんでした。						
≪事業評価≫							
令和3年度	コロナ禍ということもあり、対面での介護事業者職員向けの研修は開催できませんでしたが、在宅医療・介護連携のための研修参加などの啓発を適宜行い、資質向上に努めました。						
令和4年度	コロナ禍の影響もあり、前年同様対面での介護事業者職員向けの研修は開催できませんでしたが、在宅医療・介護連携のための研修参加などの啓発は適宜行いました。						

事業NO	1-3-1	在宅ねたきり高齢者等介護人手当事業						
基本計画の位置づけ		1-3 家族介護者に対する支援						
担当課		高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
在宅ねたきり高齢者等介護人手当事業（人）		507	538		85.9%	91.2%	-	590
≪事業評価≫								
令和3年度	令和2年度末に比べ32名増加しており、計画目標に向かって順調に進んでいる。							
令和4年度	介護人への助言が期待できる居宅介護支援事業所及びケアマネジャーへの周知活動も進んでいる。							

【資料1 ③】

事業NO	1-3-2	おむつ費用助成事業					
基本計画の位置づけ	1-3 家族介護者に対する支援						
担当課	高齢福祉課						
《事業の進捗状況》							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
おむつ費用助成事業（人）	481	519		82.9%	89.5%	-	580
《事業評価》							
令和3年度	令和2年度末に比べ11名増加しており、計画目標に向かって順調に進んでいる。						
令和4年度	介護人への助言が期待できる居宅介護支援事業所及びケアマネジャーへの周知活動も進んでいる。						

事業NO	1-3-3	介護者のつどい（家族介護支援事業）					
基本計画の位置づけ	1-3 家族介護者に対する支援						
担当課	社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》							
令和3年度	市社協主催のリフレッシュツアーを年1回、7地区社協で介護者のつどいを延べ37回開催しました。						
令和4年度	市社協主催のリフレッシュツアーを年1回、7地区社協で介護者のつどいを延べ53回開催しました。						
《事業評価》							
令和3年度	リフレッシュツアー及び介護者のつどいは、介護者同士の情報交換やリフレッシュの場となっていますが、介護者のつどいは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止をした時期があるため、回数は昨年度に比べて減少しました。						
令和4年度	リフレッシュツアー及び介護者のつどいは、介護者同士の情報交換やリフレッシュの場となっています。各地区で開催する介護者のつどいは、相談支援や介護者同士の交流の場となったほか、令和3年度に引き続き、ヨガ、体操、美容など、リラックスやミニ講義の要素も取り入れ、気軽に参加していただけるような工夫をしました。						

事業NO	1-3-4	介護者支援事業（介護教室の開催）					
基本計画の位置づけ	1-3 家族介護者に対する支援						
担当課	社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》							
令和3年度	愛知県市町村振興協会によるハートフルケアセミナーを、29町内福祉委員会、1地区社協、市社協で延べ34回開催しました。						
令和4年度	愛知県市町村振興協会によるハートフルケアセミナーを、町内福祉委員会、地区社協、市社協等で延べ57回開催しました。						
《事業評価》							
令和3年度	長引くコロナ禍により中止が相次ぎましたが、昨年度に比べ開催回数は増加しました。介護中の方や介護に関心のある方を対象に、介護に関する知識や技術、また介護予防の大切さなどについて普及を図ることができました。						
令和4年度	昨年度に比べ開催回数は増加しましたが、コロナ禍の影響により企画を控える町内会も目立ちました。高齢者の健康管理や認知症の理解など、要介護にならないための意識向上や、筋力低下を予防するために自宅で簡単にできる体操などについて啓発することができました。						

【資料 1 ③】

事業NO	1-4-1	多職種連携のための人材育成研修					
基本計画の位置づけ	1-4 医療と介護連携の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	看取り、ACP、認知症支援施策及び災害時や感染症対策を重点的なテーマとした在宅医療・介護連携推進のための研修会、並びに多職種ワークショップ研修会は、計9回開催しました。コロナ禍の影響で予定した回数の64%の開催となり、参加者は延べ570人でした。開催の9割がオンライン又は対面とオンラインとの併用とするなど工夫しながら、多職種の連携促進を図りました。						
令和4年度	看取り、ACP、認知症支援施策及び災害時や感染症対策を重点的なテーマとした在宅医療・介護連携推進のための研修会、並びに多職種ワークショップ研修会は、計12回開催しました。コロナ禍の影響で予定した回数の85%の開催となり、参加者は延べ595人でした。開催の6割がオンライン等であり、4割が対面との結果でした。昨年度と比較し可能な限り、感染対策に配慮しながら対面開催を企画し、多職種の連携促進を図りました。						
＜事業評価＞							
令和3年度	コロナ禍の中、「顔の見える関係」をつくり、医療・介護・福祉の専門職種間の相互理解を深め、多職種の連携を促進するための研修を実施できました。						
令和4年度	コロナ禍の中、「顔の見える関係」をつくり、医療・介護・福祉の専門職種間の相互理解を深め、多職種の連携を促進するための研修を実施できました。						

事業NO	1-4-2	看取り体制構築のための研修と市民啓発					
基本計画の位置づけ	1-4 医療と介護連携の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
市民のACP認知度（％）	19.1	23.2		63.7%	77.3%	-	30.0
＜事業評価＞							
令和3年度	ACP作業部会を11回開催し、「わたしノート」と「専門職のためのACPマニュアル」が予定どおり完成しました。ACPマニュアル研修会には128人、専門職によるACPの理解についての研修会には37人が参加しました。ただし、マニュアル等の完成がゴールではありませんので、今後も患者の意思決定支援を地域の中で進めていきます。						
令和4年度	今年度は市民・専門職に対する周知啓発を目的とした研修会等の企画運営を実施しました。ACP作業部会を2回開催し、11月12日に民生・児童委員と専門職を対象とした講演会とシンポジウムを開催し、126名が参加しました。次年度も市民・専門職に対する周知啓発を継続するためACP作業部会を開催し、企画運営を行います。						

事業NO	1-4-3	ICTを活用した情報連携					
基本計画の位置づけ	1-4 医療と介護連携の推進						
担当課	高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
サルビー見守りネット登録療養者数（人）	460	614		98.9%	132.0%	-	465
＜事業評価＞							
令和3年度	コロナ禍において在宅での療養を希望する方が増え、サルビー見守りネット登録療養者数が460人と増加したことで、サルビー見守りネットを利用しての多職種連携が進みました。コロナ禍で利便性の高さを利用者に実感してもらえました。						
令和4年度	コロナ禍において在宅での療養を希望する方が増え、サルビー見守りネット登録療養者数が614人と増加しており、サルビー見守りネットを利用しての多職種連携が一層進んでいます。						

【資料1 ③】

事業NO	1-4-4	在宅医療に関する普及啓発					
基本計画の位置づけ		1-4 医療と介護連携の推進					
担当課		高齢福祉課					
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	引き続き在宅医療サポートセンターの協力のもと、医師会、安城更生病院、八千代病院、歯科医師会、薬剤師会と協力体制を構築しています。人生の最終段階の意思決定についての研修会を3回実施し、295名が参加しました。						
令和4年度	在宅医療サポートセンターと協力し、在宅医療に関する相談業務や医療と介護の連携推進のために、医師会、安城更生病院、八千代病院、歯科医師会、薬剤師会と協力体制を構築しています。今年度はACPをテーマとした地域包括ケアフォーラムを開催し、多職種で意思決定支援に関する現状と課題について共有を図りました。						
＜事業評価＞							
令和3年度	在宅医療サポートセンターと協力して医療と介護の連携推進、在宅医療の普及啓発のための具体的な取組みを進めました。						
令和4年度	在宅医療サポートセンター相談窓口を市役所内に移動し、市民へ窓口をアピールしました。市民からの相談も微増しています。地域ケア推進会議内で在宅医療ガイドブック改定に取り組み、改訂版を市民・専門職に配布しました。在宅医療についてのまちかど講座を6回開催し、普及啓発に取り組んでいます。						

事業NO	1-5-1	地域ケア会議						
基本計画の位置づけ		1-5 安心と自立を目指した日常生活への支援						
担当課		高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
地域ケア個別会議（困難ケース解決型）の開催回数（回）		102	85		42.5%	35.4%	-	240
地域ケア個別会議（自立支援検討型）の開催回数（回）		92	113		95.8%	117.7%	-	96
＜事業評価＞								
令和3年度	各地区の実態に合わせ個別会議を開催し、課題の抽出を行いました。また、各中学校区ごとで地区会議を開催し、課題解決に向けて取り組みました。今後も地域ケア推進会議を核とする多職種の精力的な取組みにより、顔の見える関係づくりから地域課題の解決を目指していきます。							
令和4年度	各地区の実態に合わせ個別会議を開催し、課題の抽出を行いました。また、各中学校区ごとで地区会議を開催し、課題解決に向けて取り組みました。今後も地域ケア推進会議を核とする多職種の精力的な取組みにより、顔の見える関係づくりから地域課題の解決を目指していきます。							

事業NO	1-5-2	生活支援サービスの体制整備						
基本計画の位置づけ		1-5 安心と自立を目指した日常生活への支援						
担当課		社会福祉協議会						
＜事業の進捗状況＞								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
認定者、事業対象者を主な対象とした住民活動（団体数）		11	12		110.0%	120.0%	-	10
生活支援ネットワーク会議開催数（回）		29	37		181.3%	231.3%	-	16
＜事業評価＞								
令和3年度	2層では地域福祉活動における課題を町内福祉委員や民生児童委員、福祉事業所や生活支援・見守り協力店等で共有・情報交換するとともに、課題の解決や改善に向けた具体的な事業の検討に各地区で取り組みました。 また、1層では高齢者の生活支援や介護予防に関わる民間企業と高齢者や地域活動のニーズや課題を共有し、ともに検討する機会としました。 補助金を活用し、支援を必要とする人への住民主体の生活支援サービスが少しずつ増えています。							
令和4年度	住民による生活支援団体が複数あるため、団体同士の交流や情報交換を行い活動の改善に向け検討する機会を設けることができました。福祉事業所と地域、また福祉事業所同士のネットワークづくりを目的とした会議を開催したり、認知症支援者同士が交流し、関係づくりを進めながら、共に今後の活動について検討することができました。							

【資料 1 ③】

事業NO	1-5-3	あんジョイ生活サポーター養成研修事業
基本計画の位置づけ	1-5 安心と自立を目指した日常生活への支援	
担当課	高齢福祉課	
≪事業の進捗状況≫		
令和3年度	令和2年度までに養成したサポーターは290名です。令和3年度は、コロナ禍の影響で養成研修を行うことはできませんでした。	
令和4年度	令和2年度までに養成したサポーターは290名です。令和4年度は、コロナ禍の影響で養成研修を行うことはできませんでした。	
≪事業評価≫		
令和3年度	養成できたサポーターの数は概ね予定どおりでしたが、活用が十分には行えませんでした。今後は数より質を考えた養成手法を検討していきます。	
令和4年度	養成できたサポーターの活用が十分には行えておりませんので、養成手法を含め活用方法を検討していきます。	

事業NO	1-5-4	高齢者地域生活支援促進事業						
基本計画の位置づけ		1-5 安心と自立を目指した日常生活への支援						
担当課		高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
高齢者地域生活支援促進事業利用 団体（数）		46	55		85.2%	101.9%	-	54
≪事業評価≫								
令和3年度		46団体の申請があり、内4団体が新規で創設されました。概ね予定どおり団体数が増加しています。今後は、支援している団体が自立できるよう、働きかけを進めていきます。						
令和4年度		55団体の申請があり、内6団体が新規で創設されました。概ね予定どおり団体数が増加しています。今後は、支援している団体が自立できるよう、働きかけを進めていきます。						

事業NO	1-6-1	高齢者虐待防止の推進
基本計画の位置づけ	1-6 権利擁護等	
担当課	高齢福祉課	
＜事業の進捗状況＞		
令和3年度	虐待事案対応件数	14件
令和4年度	虐待事案対応件数	25件
＜事業評価＞		
令和3年度	在宅での通報は62件あり、虐待としての判断は13件でした。疑いも含め通報状況に応じてコア会議で虐待の有無、緊急性の判断をし、支援計画に基づいて支援を行った後、評価会議を開催しました。虐待と判断されなかったケースでも、必要に応じ継続的な支援をし、地域包括支援センター等の関係機関と連携し対応しました。 施設虐待の通報は1施設で1件あり、再発防止と対応改善の指導をしました。 虐待防止や早期発見ができるよう民生委員や介護支援専門員等に、広報あんじょう等での虐待防止のための啓発と周知を行っており、今後も継続していきます。	
令和4年度	在宅での通報は84件あり、虐待としての判断は25件でした。疑いも含め通報状況に応じてコア会議で虐待の有無、緊急性の判断をし、支援計画に基づいて支援を行った後、評価会議を開催しました。虐待と判断されなかったケースでも、必要に応じ継続的な支援をし、地域包括支援センター等の関係機関と連携し対応しました。 施設虐待の通報は7施設で7件あり、事実確認や再発防止と対応改善の指導をしました。 虐待防止や早期発見ができるよう民生委員や介護支援専門員等に、広報あんじょう等での虐待防止のための啓発と周知を行っており、今後も継続していきます。	

事業NO	1-6-2	老人保護措置事業
基本計画の位置づけ	1-6 権利擁護等	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	令和3年度は継続入所していた39名の高齢者うち1人が亡くなり、2人が退所となり措置解除しましたが、新規に2人の高齢者に対して入所を措置しました。	
令和4年度	令和4年度は3人がお亡くなり、1人が特養に移り、1人が在宅復帰しましたが、新たに6名の方を入所措置しました。	
《事業評価》		
令和3年度	コロナ禍であっても安城養護と高浜養護で継続入所を希望する全員と面談し、措置を継続するとともに、新たに入所を検討する高齢者に対しても相談を受け、2人の入所希望者を措置しました。	
令和4年度	ひとり暮らし高齢者の増加とともに措置入所を希望する高齢者が増加しており、相談件数も増加しています。	

【資料 1 ③】

事業NO	1-6-3	成年後見制度利用支援事業（市長申立て）
基本計画の位置づけ	1-6 権利擁護等	
担当課	高齢福祉課	
＜事業の進捗状況＞		
令和3年度	令和3年度は、身寄りのいない1人の高齢者の後見を市長申し、審判まで至りました。	
令和4年度	令和4年度は、医療機関や包括支援センターなど関係機関からの相談に対して2人の後見を市長申ししました。	
＜事業評価＞		
令和3年度	医療機関や包括支援センターなど関係機関からの相談に対して、適切に対応して1件の市長申立てを行った。	
令和4年度	市長申立をするにあたり医療機関や介護施設と連携し、協力して行えた。	

事業NO	1-6-4	成年後見支援事業（相談支援、啓発及び法人後見事業）
基本計画の位置づけ	1-6 権利擁護等	
担当課	社会福祉協議会	
＜事業の進捗状況＞		
令和3年度	【高齢福祉課】 市長申立てを行った1人に対して、社会福祉協議会の法人後見につなげました。また、令和4年度から社会福祉協議会に中核機関を委託することで協議しました。 【社会福祉協議会】市民及び専門職向けに講演会を開催したほか、課内の関連性の高い部署（包括支援係）を対象に、事業内容を説明する機会を設けました。専門職である弁護士や司法書士に相談できる機会を月に2回程度設けるとともに、相談の都度、事業内容の説明を具体的に行いました。	
令和4年度	令和4年度から後見支援センター業務を社会福祉協議会に委託し、順調に中核機関が立ち上がりました。 【社会福祉協議会】 認知症、知的障害、精神障害などにより判断能力の不十分な人の権利を守るため、低所得者と身寄りがいない人などの後見人等の受任を継続しました。 令和4年度から、市から中核機関事業を受託しました。成年後見制度の普及啓発として、講演会を開催するとともに、関係機関にパンフレットを配付しました。また、成年後見制度に関する相談支援として、専門職である弁護士や司法書士に相談できる機会を月に2回程度設けるとともに、随時、相談できる機会を新たに設けることができました。	
＜事業評価＞		
令和3年度	【高齢福祉課】 関係機関と連携し本人に寄り添った支援を行うことができました。 【社会福祉協議会】 新型コロナウイルス感染症により啓発方法が限られるなかで講演会を開催するとともに、課内の関連性の高い部署（包括支援係）を対象に事業内容を説明する機会を設けるなど、工夫して事業の啓発を行うことができました。職員だけではなく専門職に相談できる機会を設けることで、相談者の主訴に対して適切に対応することができました。	
令和4年度	今後も関係機関と連携、協力して行っていくことが重要です。 【社会福祉協議会】 法人後見の受任件数は15件に、援助件数も1,613件に増加しましたが、運営委員会で専門職から助言をいただくなど、適切に法人後見の業務を実施することができました。また、受任者数も援助件数も年々増加していることから、令和5年度当初予算要求の際に、1名の増員要求をすることができました。 中核機関として、一般市民と福祉専門職を対象とした講演会を開催するとともに、福祉関係機関にパンフレットを配付するなど、制度の周知・啓発を行うことができました。また、一般市民や福祉専門職等からの相談に対して制度の具体的な説明等をするとともに、法的課題のある相談に対しても、随時、法律専門職に相談できる機会を新たに設け、相談者の主訴に対して適切に対応することができました。	

【資料 1 ③】

2 地域における支え合いと社会参加の推進

事業NO	2-1-1	地区社協の活動の支援
基本計画の位置づけ	2-1 住民主体の地域福祉活動の支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	市社協では、地区社協の活動を支援するため、8地区の福祉センターに地区社協事務局を配置しています。各地区の担当職員は、地域の関係機関と連携して住民による地域福祉活動の支援や各種事業を行いました。	
令和4年度	市社協では、地区社協の活動を支援するため、8地区の福祉センターに地区社協事務局を配置しています。各地区の担当職員は、地域の関係機関と連携して住民による地域福祉活動の支援や各種事業を行いました。	
《事業評価》		
令和3年度	各地区に地区社協事務局を配置することで、コロナ禍であっても、関係機関と連携して地域性に応じた住民による地域福祉活動の提案などを行うことができました。	
令和4年度	各地区に地区社協事務局を配置することで、関係機関と連携して地域性に応じた住民による地域福祉活動の提案などを行いました。またコロナ禍においては、活動が停滞しがちな見守り活動やサロン活動などについて、身近な相談窓口として活動者へ助言を行うことができました。	

事業NO	2-1-2	町内福祉委員会の活動の支援
基本計画の位置づけ	2-1 住民主体の地域福祉活動の支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	第4次地域福祉計画の策定に合わせて作成された各町内福祉委員会による町内福祉活動計画の推進を支援し、町内福祉活動への支援を市内全域で継続しました。	
令和4年度	第4次地域福祉計画の策定に合わせて作成された各町内福祉委員会による町内福祉活動計画の推進を支援し、町内福祉活動への支援を市内全域で継続しました。	
《事業評価》		
令和3年度	町内福祉委員会活動を通じて、地域課題や取組みを整理しました。また、勉強会などを通して地域福祉活動の啓発や見守り対象者の見直しなどを進め、コロナ禍に対応した活動について提案などを行い、地域の状況に応じた住民による主体的な地域福祉活動を支援することができました。	
令和4年度	第5次地域福祉計画の策定に合わせて、地域会議（地区会議）を開催し、地域課題を整理しました。また、地区社協の勉強会などを通して地域福祉活動の啓発などを行い、地域の状況に応じた住民による主体的な地域福祉活動を支援することができました。	

事業NO	2-1-3	地域見守り活動の推進
基本計画の位置づけ	2-1 住民主体の地域福祉活動の支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	平成30年度から、各地区の見守り活動を強化するため、各地区社協単位で特定の町内福祉委員会を「見守り活動の推進指定」とし、さらに見守り活動の推進を図りました。	
令和4年度	平成30年度から、各地区の見守り活動を強化するため、各地区社協単位で特定の町内福祉委員会を「見守り活動の推進指定」とし、さらに見守り活動の推進を図りました。	
《事業評価》		
令和3年度	全町内福祉委員会を継続支援する中で、18町内福祉委員会を特に注力して推進する福祉委員会として指定し支援したことで、指定地域の見守り活動体制の見直しと充実を図ることができました。	
令和4年度	全町内福祉委員会を継続支援する中で、18町内福祉委員会を特に注力して推進する福祉委員会として指定し支援したことで、指定地域の見守り活動体制の見直しと充実を図ることができました。	

【資料1 ③】

事業NO	2-1-4	サロンの開催支援						
基本計画の位置づけ		2-1 住民主体の地域福祉活動の支援						
担当課		社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
月1回以上開催のサロン数		195	207		126.6%	134.4%	-	154
《事業評価》								
令和3年度	町内福祉委員会や地域ボランティア等が、月1回以上開催を計画したサロンの数は195箇所ありましたが、コロナ禍により、一時中断したサロンが多数ありました。							
令和4年度	町内福祉委員会や地域ボランティア等が、月1回以上開催を計画したサロンの数は207箇所ありましたが、コロナ禍により、一時中断したサロンが多数ありました。							

事業NO	2-1-5	住民組織と福祉団体・福祉事業者とのマッチング						
基本計画の位置づけ		2-1 住民主体の地域福祉活動の支援						
担当課		社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
住民組織と福祉団体・福祉事業者とのマッチング件数		103	141		103.0%	141.0%	-	100
《事業評価》								
令和3年度	地区単位でマッチングにつながる情報交換ができる場を開催（4地区計3回）するとともに、各地区に配置した生活支援コーディネーターによる地域ニーズに応じた活動のマッチングを随時実施しました。							
令和4年度	市域全体でマッチングにつながる情報交換ができる場を開催するとともに各地区に配置した生活支援コーディネーターによる地域ニーズに応じた活動のマッチングを随時実施しました。							

事業NO	2-1-6	高齢者見守り事業者ネットワーク事業					
基本計画の位置づけ		2-1 住民主体の地域福祉活動の支援					
担当課		高齢福祉課					
《事業の進捗状況》							
令和3年度	3事業者と新たに高齢者の見守りに関する協定を締結することができ、累計47事業者となりました。						
令和4年度	累計47事業所と増減はありませんでした。						
《事業評価》							
令和3年度	高齢者の異変に気づきやすい金融機関や、定期的に家庭を訪問する新聞配達店及び宅配業者などからの通報は、地域包括支援センターと連携することで早期支援や安否確認に結びついています。						
令和4年度	高齢者の異変に気づきやすい金融機関や、定期的に家庭を訪問する新聞配達店及び宅配業者などからの通報は、地域包括支援センターと連携することで早期支援や安否確認に結びついています。						

【資料 1 ③】

事業NO	2-1-7	生活支援・見守り協力店事業
基本計画の位置づけ	2-1	住民主体の地域福祉活動の支援
担当課		社会福祉協議会
＜事業の進捗状況＞		
令和3年度	【地域支援係】 市内の中小規模の商店の協力を得て、累計636店舗となりました。 【社会福祉協議会】 市内にある店舗や事業所などに働きかけ、高齢者等の見守り支援や生活支援への協力依頼を継続するとともに、新規登録店舗の開拓を図り、市内全域で636箇所の店舗や事業所等に登録していただきました。	
令和4年度	【地域支援係】 市内の中小規模の商店の協力を得て、累計608店舗となりました。 【社会福祉協議会】 市内にある店舗や事業所などに働きかけ、高齢者等の見守り支援や生活支援への協力依頼を継続し、市内全域で608箇所の店舗や事業所等に登録していただきました。	
＜事業評価＞		
令和3年度	【地域支援係】 協力店の日ごろの業務から高齢者等の変化に気づいた際には連絡を受け、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携することで支援に結びついています。 【社会福祉協議会】 生活支援・見守り協力店に登録の趣旨を理解していただき、連絡時には速やかに情報共有や連携を図れるよう信頼関係を築きました。また、さらなる新規協力店を開拓することで地域におけるネットワークを拡げることができました。	
令和4年度	【地域支援係】 協力店の日ごろの業務から高齢者等の変化に気づいた際には連絡を受け、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携することで支援に結びついています。 【社会福祉協議会】 生活支援・見守り協力店に登録の趣旨を理解していただき、連絡時には速やかに情報共有や連携を図れるよう信頼関係を築き、10件の対応を行いました。	

事業NO	2-2-1	後期高齢者医療健康診査・特定健康診査					
基本計画の位置づけ	2-2	健康づくりの推進					
担当課		国保年金課					
＜事業の進捗状況＞							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
後期高齢者医療健康診査実施率 (%)	44.5	45.1		98.9%	100.2%	-	45.0
＜事業評価＞							
令和3年度	生活習慣病を早期に発見することにより、適切に医療につなげて重症化を予防するよう健診を提供。コロナ禍で受診控えが起きないよう、必要性を啓発し受診勧奨に努めた。健康寿命の延伸に向け、令和5年度から保健事業と介護予防の一体的実施が推進できるよう関係各課で検討を開始している。						
令和4年度	生活習慣病を早期に発見することにより、適切に医療につなげて重症化を予防するよう健診を提供。コロナ禍で受診控えが起きないよう、必要性を啓発し受診勧奨に努めた。健康寿命の延伸に向け、令和5年度から保健事業と介護予防の一体的実施が推進できるよう関係各課で検討し、試行的に健康診査結果の分析及び1地区において健康状態を把握できない対象者に対し、訪問等により健診受診勧奨を実施した。令和5年度2地区に拡大、令和6年度から全8地区での実施に向け検討した。						

事業NO	2-2-2	健康相談
基本計画の位置づけ	2-2	健康づくりの推進
担当課		健康推進課
＜事業の進捗状況＞		
令和3年度	健康総相談人数 530人、栄養相談人数 316人	
令和4年度	健康相談人数 567人、栄養相談人数 697人	
＜事業評価＞		
令和3年度	令和2年度に比べ、実施回数を増やしたため、相談人数も増加しました。	
令和4年度	栄養相談は開催場所を増やしたこと、イベント等が増えたため、相談人数が増えました。	

【資料1③】

事業NO	2-3-1	老人クラブへの支援						
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
老人クラブ数（団体）		97	94		97.0%	94.0%	-	100
会員数（人）		9,770	9,180		97.7%	91.8%	-	10,000
《事業評価》								
令和3年度	老人クラブの魅力について、市の広報などを利用して周知しましたが、会員数の減少を止めることが出来ませんでした。							
令和4年度	市の広報誌を利用して会員の募集を行いました、会員数の減少を止めることが出来ませんでした。							

事業NO	2-3-2	あんくるバス運行事業					
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援					
担当課		都市計画課					
《事業の進捗状況》							
令和3年度	運行事業者との連携を密にし、市民の移動手段である、あんくるバスを運行しました。 R 3 あんくるバス利用者数：443,073人						
令和4年度	運行事業者との連携を密にし、市民の移動手段である、あんくるバスを運行しました。 R 4 あんくるバス利用者数：504,761人						
《事業評価》							
令和3年度	11路線での運行を継続して行いました。						
令和4年度	11路線での運行を継続して行い、利用者はコロナ前であるR 1 の約9割まで回復しました。						

事業NO	2-3-3	高齢者社会参加促進事業						
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
あんくるバス後期高齢者月平均利用者数（人）		11,494	13,455		76.9%	90.0%	-	14,950
《事業評価》								
令和3年度	これまで年々増加してきた利用者も新型コロナウイルスの影響で大幅に減少してしまいました。							
令和4年度	コロナの影響も減少して、外出する高齢者が増加、それに伴ってあんくるバスの利用者も増加、目標数値への到達も見えてきた。							

事業NO	2-3-4	路線バス補助事業					
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援					
担当課		都市計画課					
《事業の進捗状況》							
令和3年度	路線バスの運行の存続を支援するため、市からの補助以外に国庫補助も活用し、財政負担の軽減を図りました。						
令和4年度	路線バスの運行の存続を支援するため、市からの補助以外に国庫補助も活用し、財政負担の軽減を図りました。						
《事業評価》							
令和3年度	運行事業者への支援を継続して行い、2路線の運行を維持しました。						
令和4年度	運行事業者への支援を継続して行い、2路線の運行を維持するとともに、どうする家康に関連した利用促進を実施しました。						

【資料 1 ③】

事業NO	2-3-5	シルバー人材センターの支援・雇用の場の確保					
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援					
担当課		シルバー人材センター、高齢福祉課					
《事業の進捗状況》							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
シルバー人材センター登録会員数 (人)	1,096	1,068		101.7%	99.1%	-	1,078
《事業評価》							
令和3年度	町内会回覧や市広報、新聞折り込みチラシ等により、会員募集のPRを行い、登録会員数は順調に増加しています。						
令和4年度	令和4年度は事務所の移転もあり会員が減少、しかしながら令和5年度の目標到達は順調に進んでいる。						

事業NO	2-3-6	ボランティアセンター事業
基本計画の位置づけ	2-3 生きがいづくりの支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	ボランティア養成講座を8件開催しました。ボランティアに関する各種相談に応じたり、ボランティア啓発のための講師を担いました。また、ボランティア室をはじめとする資機材の提供をしました。	
令和4年度	ボランティア養成講座を11件開催しました。ボランティア入門講座として、講師を招き講演会を実施したり、ボランティア団体とボランティアに興味ある人が情報交換できるきっかけの場を提供しました。また、中学生以上を対象とした市内福祉施設でのボランティア体験プログラムを実施しました。ボランティアセンターの公式LINEにて月に1回程度、ボランティア情報を提供しました。	
《事業評価》		
令和3年度	コロナ禍においてボランティアの活動機会が減少しています。コロナ禍でも活動ができるよう、ウェブ会議ツールを使用した活動の場を提供し、支援しました。	
令和4年度	各種講座や公式LINE、ウェブサイトなどを通して情報提供を行い、ボランティア活動へのきっかけづくりの提供、支援を行いました。	

事業NO	2-3-7	市民活動センター事業
基本計画の位置づけ	2-3 生きがいづくりの支援	
担当課	市民協働課	
≪事業の進捗状況≫		
令和3年度	広報あんじょうやイベント等にて市民活動に関するPRをし、市民活動への参加のきっかけづくりを行った。また、活動場所の提供、市民活動に関する講座の開催、相談等の支援をした。	
令和4年度	広報あんじょうやイベント等にて市民活動に関するPRをし、市民活動への参加のきっかけづくりを行った。また、活動場所の提供、市民活動に関する講座の開催、相談等の支援をした。	
≪事業評価≫		
令和3年度	今後も市民活動のPRや市民活動に関するさまざまな支援を継続的に行う。	
令和4年度	今後も市民活動のPRや市民活動に関するさまざまな支援を継続的に行う。	

事業NO	2-3-8	高齢者教室						
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援						
担当課		生涯学習課						
《事業の進捗状況》								
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標	
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度	
高齢者教室の教室数（教室）	11	11		110.0%	110.0%	-	10	
《事業評価》								
令和3年度	コロナ禍のため、部屋の定数の半数程度の受講者とし、各公民館5回程度の連続講座を2部制としました。 多彩な分野の講座を企画し、ほぼ実施することができ、受講生同士のつながりをつくることができました。							
令和4年度	コロナ禍のため、部屋の定数の半数程度の受講者として実施しました。 多彩な分野の講座を企画し、今年度は中止することなく実施することができ、受講生同士のつながりをつくることができました。							

【資料1 ③】

事業NO	2-3-9	シルバーカレッジ						
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援						
担当課		生涯学習課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
シルバーカレッジのクラス数（クラス）		2	2		100.0%	100.0%	-	2
《事業評価》								
令和3年度	多彩な講座により、自己啓発及び新しい仲間づくりの場となっています。講座以外にも自主的に集まり、様々な活動を実施している姿が見られました。卒業後においても一部では活動を継続しています。							
令和4年度	多彩な講座により、自己啓発及び新しい仲間づくりの場となっています。講座以外にも自主的に集まり、様々な活動を実施している姿が見られました。卒業後においても一部では活動を継続しています。							

事業NO	2-3-10	地域における高齢者スポーツの推進						
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援						
担当課		スポーツ課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
グラウンド・ゴルフ協会会員数（人）		179	141		54.2%	42.7%	-	330
高齢者向けスクールの参加者数（人）		93	91		77.5%	75.8%	-	120
歩け・ランニング運動の参加者数（人）		6,846	7,045		92.5%	95.2%	-	7,400
おはよう！ふれあいラジオ体操会の参加者数（人）		9,506	15,391		88.8%	143.8%	-	10,700
《事業評価》								
令和3年度	令和2年度に比べコロナ禍ではあるものの、各種事業等を極力中止せず、コロナ対策を図りながら実施することができたため、コロナ禍以前ほどではないものの、事業の参加者数は徐々に増えてきています。							
令和4年度	コロナ禍ではあるものの、歩け・ランニング運動やおはようラジオ体操会の参加人数が増加しています。引き続き、高齢者が気軽にスポーツを始めるきっかけづくりの提供に努めます。							

事業NO	2-3-11	「農」のある暮らしの促進						
基本計画の位置づけ		2-3 生きがいづくりの支援						
担当課		農務課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
野菜づくり入門コース実施数（回）		2	2		100.0%	100.0%	-	2
《事業評価》								
令和3年度	アグリライフ支援センターにおいて、野菜の植付・収穫、農機具・農薬の使い方等、農業の基礎を学ぶ入門コースを春夏・秋冬の計2回実施し、延べ50名が受講しました。受講生のうち延べ49名に修了証を授与しました。							
令和4年度	アグリライフ支援センターにおいて、野菜づくり等、農業の基礎を学ぶ入門コースを春夏・秋冬の計2回実施し、延べ50名が受講しました。全32回講義の8割以上出席した者に授与される修了証は、全員が授与できました。							

【資料1③】

事業NO	2-3-12	福祉センター講座					
基本計画の位置づけ	2-3　生きがいづくりの支援						
担当課	社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》							
区　　分	実　績　及　び　計　画　目　標　に　対　す　る　比　率						計　画　目　標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
福祉センター講座数（講座）	61	55		135.6%	122.2%	-	45
福祉センター講座受講者数（人）	3,896	3,629		51.9%	48.4%	-	7,500
《事業評価》							
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため一部の講座の中止や人数制限をしましたが、対策をし内容を見直すことで開催することができた講座もありました。						
令和4年度	R4年度は総合福祉センターの改修期間が半年にも及び、その間講座の開催ができませんでした。また、コロナウイルス感染症の拡大防止のため人数制限等もあり、受講者数は減少しています。						

事業NO	2-3-13	福祉センターサロン					
基本計画の位置づけ	2-3　生きがいづくりの支援						
担当課	社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》							
区　　分	実　績　及　び　計　画　目　標　に　対　す　る　比　率						計　画　目　標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
福祉センターサロン数（サロン）	66	65		101.5%	100.0%	-	65
福祉センターサロン参加者数（人）	16,001	22,370		88.9%	124.3%	-	18,000
《事業評価》							
令和3年度	サロン数を増やし福祉センターを高齢者の居場所機能を強化することができていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、参加者数は減少傾向にあります。						
令和4年度	新型コロナウイルス感染症で減少傾向にあった参加者が、対策をしてサロン開催を継続してきたことにより、徐々に参加人数は増加傾向にあります。						

事業NO	2-4-1	高齢者外出支援サービス事業					
基本計画の位置づけ	2-4　在宅生活の支援						
担当課	高齢福祉課						
《事業の進捗状況》							
区　　分	実　績　及　び　計　画　目　標　に　対　す　る　比　率						計　画　目　標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
高齢者外出支援サービス事業 利用者数（人）	806	864		122.1%	130.9%	-	660
《事業評価》							
令和3年度	令和2年度から利用目的や行先等の制限を撤廃するなどの制度改正を実施した結果、既に利用者数が目標値に到達していますが、さらなる外出促進・移動支援につながるよう、令和3年度から一般タクシーの料金助成制度も開始しました。						
令和4年度	令和3年度に引き続き利用者は増加、一般タクシー料金助成制度開始の影響が表れている。						

事業NO	2-4-2	車いす移送車サルビア号貸出事業					
基本計画の位置づけ	2-4　在宅生活の支援						
担当課	社会福祉協議会						
《事業の進捗状況》							
令和3年度	8地区の各福祉センターで計9台の車いす移送車を無料で貸出し、市民の外出支援に活用されました。利用回数は745回で、昨年度に比べ増加しています。						
令和4年度	8地区の各福祉センターで計9台の車いす移送車を無料で貸出し、市民の外出支援に活用されました。利用回数は810回で、昨年度に比べ増加しています。						
《事業評価》							
令和3年度	長引くコロナ禍においても、利用は昨年度より増加し、車いす移送車の需要の高さが窺えます。事業を継続し広く市民に利用いただけるよう広報にも努め、外出支援を図ることができました。						
令和4年度	長引くコロナ禍においても、利用は昨年度より増加し、車いす移送車の需要の高さが窺えます。事業を継続し広く市民に利用いただけるよう広報にも努め、外出支援を図ることができました。						

【資料1 ③】

事業NO	2-4-3	車いす貸出事業
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	8地区の各福祉センター及び社会福祉会館で車いすを無料で貸出し、利用者の移動手段として活用されました。利用回数は577回で、昨年度に比べ増加しています。	
令和4年度	8地区の各福祉センター及び社会福祉会館で車いすを無料で貸出し、利用者の移動手段として活用されました。利用回数は754回で、昨年度に比べ増加しています。	
《事業評価》		
令和3年度	長引くコロナ禍においても、利用は昨年度より増加し、車いすの需要の高さが窺えます。利用者や介助者の利便性にも配慮しながら事業を継続し、広く市民に利用いただけるよう広報にも努め、外出支援を図ることができました。	
令和4年度	利用は昨年度より増加し、車いすの需要の高さが窺えます。利用者や介助者の利便性にも配慮しながら事業を継続し、広く市民に利用いただけるよう広報にも努め、外出支援を図ることができました。	

事業NO	2-4-4	寝具乾燥事業						
基本計画の位置づけ		2-4 在宅生活の支援						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標	
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度	
寝具乾燥事業の利用者数（人）		53	51		88.3%	85.0%	-	60
《事業評価》								
令和3年度	近年利用者数は横ばいの状態ですので、今後は事業の周知に努めます。							
令和4年度	事業の周知に努めているが利用者数の横ばい傾向は続いている。							

事業NO	2-4-5	訪問理容サービス事業					
基本計画の位置づけ		2-4 在宅生活の支援					
担当課		高齢福祉課					
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
訪問理容サービス事業 延利用者 数（人）	54	56		108.0%	112.0%	-	50
≪事業評価≫							
令和3年度	目標値を上回りましたが、今後も必要としている方の利用につながるよう啓発に努めます。						
令和4年度	今年度も目標値を上回りましたが、今後も必要とされている方の利用につながるよう啓発に努めます。						

事業NO	2-4-6	福祉サービス利用援助事業
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	課内の関連性の高い部署（包括支援係）を対象に、事業内容を説明する機会を設けました。相談の都度、事業内容の説明を具体的に行いました。	
令和4年度	日常生活に不安を抱える認知症高齢者、知的障害のある人、精神障害のある人を対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などを行いました。 実利用件数は41件から42件に、援助回数は3,495件から3,561件に増加しました。近年、明らかな増加傾向が継続しています。	
《事業評価》		
令和3年度	新型コロナウイルス感染症により啓発方法が限られるなか、課内の関連性の高い部署（包括支援係）を対象に事業内容を説明する機会を設けるなど、工夫して事業の啓発を行うことができました。説明会の開催ではなく、専門職からの相談の都度、事業について具体的な説明をすることにより、事業に対する理解を深めていただくことができました。	
令和4年度	実利用件数は42件に、援助回数は3,561件に増加したものの、契約者に対する支援を適切に実施しました。 事業内容の周知については、説明会形式ではなく、専門職からの相談の都度、事業内容の説明に時間をかけて理解いただくことを心掛けることとし、事例を通じて事業内容に対する理解を深めていただくように工夫しました。	

【資料 1 ③】

事業NO	2-4-7	障害者ホームヘルプサービス利用者に対する支援措置
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	令和3年度において、制度移行措置対象者がいなかったため、実績はありませんでした。	
令和4年度	令和4年度において、制度移行措置対象者がいなかったため、実績はありませんでした。	
《事業評価》		
令和3年度	介護保険制度の円滑な実施を図るための事業であり、障害者施策から移ってきた人が、軽減された負担金で介護サービスを受けられる制度であり、今後も必要です。	
令和4年度	介護保険制度の円滑な実施を図るための事業であり、障害者施策から移ってきた人が、軽減された負担金で介護サービスを受けられる制度であり、今後も必要です。	

事業NO	2-4-8	高齢者軽度生活援助事業						
基本計画の位置づけ		2-4 在宅生活の支援						
担当課		高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
高齢者軽度生活援助事業 月延利用者数（人）		1,166	1,244		93.3%	99.5%	-	1,250
≪事業評価≫								
令和3年度	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、家事援助等を必要とする利用者が増えていきます。今後は、総合事業における住民主体サービスの進展を踏まえつつ、事業の在り方を検討していきます。							
令和4年度	今年度も利用者数の増加傾向は続きましたが、今後は、総合事業における住民主体サービスの進展を踏まえつつ、事業の在り方を検討していきます。							

事業NO	2-4-9	日常生活用具給付貸与事業						
基本計画の位置づけ		2-4 在宅生活の支援						
担当課		高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫								
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標	
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度	
介護支援ベッド貸与数（台）		12	11		60.0%	55.0%	-	20
高齢者用杖の給付数（本）		707	772		83.2%	90.8%	-	850
≪事業評価≫								
令和3年度	介護支援ベット貸与の実績数が減少している。新しく利用を希望する高齢者が減少する一方、利用者は長期化している。							
令和4年度	生活様式の洋風化が進み、介護支援ベット貸与の実績数が減少しているが、杖の給付本数は増加しているため引き続き事業を継続していきます。							

事業NO	2-4-10	友愛訪問事業						
基本計画の位置づけ		2-4 在宅生活の支援						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
友愛訪問事業 訪問者数（人）		196	179		76.9%	70.2%	-	255
《事業評価》								
令和3年度	友愛訪問は老人クラブにより実施をしています。近年、老人クラブの友愛訪問者数は減少傾向にありますが、ひとり暮らし高齢者は増加傾向にありますので、老人クラブ会長会議等において啓発をおこなっていきます。							
令和4年度	ひとり暮らし高齢者は増加傾向にありますが、訪問者数は減少しています。今後も制度や老人クラブの周知に努めて、利用者の増加を目指します。							

【資料１③】

事業NO	2-4-11	福祉電話事業（電話訪問サービス）					
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援						
担当課	高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和５年度
福祉電話事業（電話訪問サービス）利用者数（人）	116	99		77.3%	66.0%	-	150
≪事業評価≫							
令和３年度	利用者数が年々減少傾向にあります。利用者の継続や新規利用者を増やす方策について検討する必要があります。						
令和４年度	ひとり暮らし高齢者が増加しているなか、利用者は減少していますので、利用者の継続や新規利用者を増やす方策について検討する必要があります。						

事業NO	2-4-12	緊急通報装置設置事業					
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援						
担当課	高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和５年度
緊急通報装置設置数（台）	434	430		100.5%	99.5%	-	432
≪事業評価≫							
令和３年度	近年、設置件数は横ばい傾向ですが、相談や救急搬送につながっている通報が多くあり、安心できる在宅生活に寄与しています。						
令和４年度	近年、設置件数は横ばい傾向ですが、相談や救急搬送につながっている通報が多くあり、安心できる在宅生活に寄与しています。						

事業NO	2-4-13	鍵の預かり事業					
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援						
担当課	社会福祉協議会						
≪事業の進捗状況≫							
令和３年度	登録者数２１件（独居高齢者２０件、独居障害者１件） 令和４年３月３１日時点						
令和４年度	登録者数１０件（独居高齢者１０件） 令和５年３月３１日時点						
≪事業評価≫							
令和３年度	ひとり暮らし高齢者や障がい者の安否確認を、円滑化するサービスとして実施しています。						
令和４年度	ひとり暮らし高齢者や障がい者の安否確認を、円滑化するサービスとして実施しました。						

事業NO	2-4-14	高齢者給食サービス事業					
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援						
担当課	高齢福祉課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和５年度
高齢者給食サービス配食数（食）	84,375	98,418		106.8%	124.6%	-	79,000
特別食（人）	41	41		68.3%	68.3%	-	60
普通食（人）	617	678		102.8%	113.0%	-	600
≪事業評価≫							
令和３年度	受給者数、配食数ともに増加傾向にありますが、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は年々増加しており、本事業を必要とする方は多いと考えられますので、今後も引き続き事業周知に努めます。						
令和４年度	コロナ禍において、外出自粛が進み普通食を希望する人数、配食数ともに増加している。本事業を必要とする方は多いと考えられますので、今後も引き続き事業周知に努めます。						

【資料 1 ③】

事業NO	2-4-15	高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣事業
基本計画の位置づけ	2-4 在宅生活の支援	
担当課	社会福祉協議会	
《事業の進捗状況》		
令和３年度	県営依佐美住宅に居住する２３世帯、県営古井住宅に居住する１９世帯、県営桜井住宅に居住する１０世帯の高齢者に対して生活援助員を派遣して、生活指導、相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供しました。	
令和４年度	県営依佐美住宅に居住する２３世帯、県営古井住宅に居住する１９世帯、県営桜井住宅に居住する１１世帯の高齢者に対して生活援助員を派遣して、生活指導、相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供しました。	
《事業評価》		
令和３年度	生活援助員が定期的に訪問することで、相談役になることがあり、他の福祉サービスにつなげたケースが多々ありました。	
令和４年度	生活援助員が定期的に訪問することで、相談役になることがあり、他の福祉サービスにつなげたケースが多々ありました。	

事業NO	2-5-1	人にやさしい住宅リフォーム費助成事業					
基本計画の位置づけ		2-5 住環境の整備					
担当課		高齢福祉課					
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
住宅リフォーム費助成実施数 (件)	176	187		100.6%	106.9%	-	175
≪事業評価≫							
令和3年度	今年度目標数値に到達。増加要因について調査、研究していきます。						
令和4年度	リフォーム会社の営業活動もあり、順調に進捗している。						

事業NO	2-5-2	家具転倒防止器具取付事業					
基本計画の位置づけ		2-5 住環境の整備					
担当課		高齢福祉課					
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
家具転倒防止器具取付設置数（世帯）	3	12		20.0%	80.0%	-	15
≪事業評価≫							
令和3年度	利用者数は低調です。高齢者宅を訪れる機会のあるケアマネジャーや訪問介護事業者等に働きかけをするなど、様々な機会をとらえてより一層の周知活動を継続していきます。						
令和4年度	昨年度に比べ大きく増加、このまま進捗するよう啓発活動に努めていきます。						

事業NO	2-5-3	市営住宅高齢者向け住戸改善事業					
基本計画の位置づけ	2-5 住環境の整備						
担当課	建築課						
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
住戸改善事業（戸：累計）	330	348		99.7%	105.1%	-	331
≪事業評価≫							
令和3年度	当該年度に住戸改善の実施対象住宅がないため、戸数の変更はありません。 令和3年度改定「安城市公共施設等総合管理計画」及び実施計画査定結果により中規模改修実施が不透明となりました。しかしながら、超高齢社会に対応すべく住環境の整備の必要性は増加しており、今後も検討が必要と考えています。						
令和4年度	井岡山住宅の建替が完了し、バリアフリー対応の住戸数を増やすことができました。 今後は建替を行うことにより、高齢者にも配慮した住宅を建設していくことを検討していくため、既存の住宅における個別の住戸改善は実施を予定しておりません。						

【資料1 ③】

事業NO	2-5-4	高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく各制度の周知
基本計画の位置づけ	2-5 住環境の整備	
担当課	建築課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	令和3年度は問合せなどは数件ありましたが、本事業の利用者はいませんでした。	
令和4年度	令和4年度は問合せなどは数件ありましたが、本事業の利用者はいませんでした。	
《事業評価》		
令和3年度	在宅生活が不安な高齢者等に一時的な生活支援を図るため、令和2年度から本事業を実施していますが、認知度が低いため、積極的な周知を図っていきたい。	
令和4年度	在宅生活が不安な高齢者等に一時的な生活支援を図るため、令和2年度から本事業を実施していますが、認知度の向上が見られないため、周知手法を検討していきたい。	

事業NO	2-5-5	高齢者中短期入所生活支援事業
基本計画の位置づけ	2-5 住環境の整備	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	令和3年度は問合せなどは数件ありましたが、本事業の利用者はいませんでした。	
令和4年度	利用者数は一人でした。	
《事業評価》		
令和3年度	在宅生活が不安な高齢者等に一時的な生活支援を図るため、令和2年度から本事業を実施していますが、認知度が低いため、積極的な周知を図っていきたい。	
令和4年度	地域包括支援センター、医療機関への認知度を高める必要があります。	

事業NO	2-6-1	地域ぐるみの防災活動の推進					
基本計画の位置づけ		2-6 安全対策の推進					
担当課		危機管理課					
≪事業の進捗状況≫							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
自主防災訓練への参加者数（人）	8,510	11,081		47.3%	61.6%	-	18,000
自主防災訓練の実施率（実施組織／全組織73）（%）	57.5	73.9		57.5%	73.9%	-	100.0
≪事業評価≫							
令和3年度	コロナウイルスの影響があり、訓練の中止・未実施の自主防災組織が31団体みられた。今後は、コロナウイルスの感染状況を見つつ、全組織で訓練を実施していけるように働きかけを行い、より多くの参加を促し、地域防災力の向上を推進していきます。						
令和4年度	コロナウイルスの影響があった昨年度と比較して実施率は増加したものの、訓練の中止・未実施の自主防災組織が19団体みられた。今後は、全組織で訓練を実施していけるように、具体的な訓練内容等もお伝えすることで、より多くの参加を促し、地域ぐるみの防災活動の推進をしていきます。						

事業NO	2-6-2	地区防災計画策定支援事業						
基本計画の位置づけ		2-6 安全対策の推進						
担当課		危機管理課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
地区防災計画の策定数（件）		3	6		60.0%	120.0%	-	5
《事業評価》								
令和3年度	地区防災計画の策定支援を実施し、3件の地区防災計画が策定された。 令和4年度も引き続き、地区防災計画の策定支援を行う。							
令和4年度	地区防災計画の策定支援を実施し、6件の地区防災計画が策定された。 令和5年度も引き続き、地区防災計画の策定支援を行う。							

【資料 1 ③】

事業NO	2-6-3	避難行動要支援者支援制度の啓発
基本計画の位置づけ	2-6 安全対策の推進	
担当課	社会福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	要支援者の情報提供先に警察を追加したため、同意のある方に対して同意書を送付し提出を求めた。同意のない方に対しては制度の案内と同意勧奨を行った。また、町内会から制度説明の依頼があったため、2回まちかど講座を行った。	
令和4年度	新たに制度対象者となった方への制度案内をするとともに、同意のない方への同意推奨を行った。また町内会等から制度説明の依頼があったため、まちかど講座を3回実施した。	
《事業評価》		
令和3年度	令和3年度末での名簿掲載者数は5,764人で、そのうち平常時から民生委員等の避難支援等関係者へ情報提供することに同意を得られたのは4,507人であった。前年同時期と比較して、名簿掲載者が215人増加した。同意を得られている割合は78.1%である。今後も情報発信に努め、一層の制度の推進を図る。	
令和4年度		

事業NO	2-6-4	防犯啓発活動の推進					
基本計画の位置づけ	2-6 安全対策の推進						
担当課	市民安全課						
《事業の進捗状況》							
区 分	実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率						計 画 目 標
	R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
高齢者対象の防犯教室の参加者数 (人)	440	934		48.9%	103.8%	-	900
《事業評価》							
令和3年度	高齢者を対象として多発している特殊詐欺を中心とし、ほかにも発生件数の多い侵入盗について重点的に指導しました。犯罪発生傾向を踏まえた事例紹介と予防策を分かりやすく説明し、犯罪被害の減少を図っています。						
令和4年度	高齢者を対象として多発している特殊詐欺を中心とし特殊詐欺対策装置の設置啓発に努め、ほかにも発生件数の多い侵入盗について重点的に指導しました。犯罪発生傾向を踏まえた事例紹介と予防策を分かりやすく説明し、犯罪被害の減少を図っています。						

事業NO	2-6-5	交通安全研修会						
基本計画の位置づけ		2-6 安全対策の推進						
担当課		市民安全課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
交通安全研修会参加者数（人）		27	95		27.0%	95.0%	-	100
《事業評価》								
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、密を避けるため、人数を制限し交通安全リーダーのみに声掛けを行い交通安全研修会を実施した。来年度以降は、受講対象者の範囲を拡大し、老人クラブ会員に対しても参加を呼びかける予定。							
令和4年度	交通安全リーダーと老人クラブ会員に参加を呼びかけ、密を避けるため2部制短時間で交通安全研修会（座学）を実施した。また、交通安全リーダーに対し、コアラドライブ安城にて急ブレーキや自動ブレーキ体験等の研修会を実施した。							

3 介護保険サービスの安定と充実

事業NO	3-1-1	介護人材確保に関する意見交換会の実施
基本計画の位置づけ	3-1 介護人材の確保・離職防止	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	介護サービスごとに実施している定例会後に人材確保等の状況聴き取りを実施予定でしたが、コロナ禍による開催中止等のため、予定通り実施できませんでした。	
令和4年度	令和5年3月に、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設及び認知症グループホームを対象に、懇話会による聞き取りを実施しました。	
《事業評価》		
令和3年度	今後の状況を注視しつつ、実施方法を再検討します。	
令和4年度	聞き取り結果について精査し、次期計画策定内容について検討します。	

【資料1 ③】

事業NO	3-1-2	多様な人材確保に向けた支援					
基本計画の位置づけ		3-1 介護人材の確保・離職防止					
担当課		高齢福祉課					
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	初年度は介護サービス事業所内のニーズを把握すべく、アンケート項目の検討等を実施しました。						
令和4年度	介護サービス事業者に対してアンケートを実施しました。また人材確保に関するチラシを作成、配布を開始しました。						
＜事業評価＞							
令和3年度	初年度は内部業務のみに終始したため、次年度以降は調査及び結果の把握に努めたい。						
令和4年度	アンケート結果について精査し、次期計画策定内容について検討します。						

事業NO	3-1-3	介護の職場環境改善支援					
基本計画の位置づけ		3-1 介護人材の確保・離職防止					
担当課		高齢福祉課					
＜事業の進捗状況＞							
令和3年度	初年度は介護サービス事業所内の問題及びニーズを把握すべく、アンケート項目の検討等を実施しました。						
令和4年度	介護サービス事業者に対してアンケートを実施し、問題及びニーズの把握に努めました。						
＜事業評価＞							
令和3年度	初年度は内部業務のみに終始したため、次年度以降は調査及び結果の把握に努めたい。						
令和4年度	アンケート結果について精査し、次期計画策定内容について検討します。						

事業NO	3-1-4	介護関連資格取得等補助						
基本計画の位置づけ		3-1 介護人材の確保・離職防止						
担当課		高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
介護関連資格取得補助事業交付件数（件）		2	7		20.0%	70.0%	-	10
＜事業評価＞								
令和3年度	補助金の申請が2件あり、前年度と同数です。問い合わせはありましたが、規則上、補助対象とならないケースもあり、キャリアアップを目指す介護従事者により適切な支援ができるよう制度の見直しが必要です。							
令和4年度	令和4年度の実績は7件と昨年度より増加。引き続き、制度が浸透するように周知等を行う必要がある。							

事業NO	3-2-1	介護給付等費用適正化事業						
基本計画の位置づけ		3-2 的確で質の高いサービスの提供						
担当課		高齢福祉課						
＜事業の進捗状況＞								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
ケアプランチェック実施事業者数（か所／年）		6	11		60.0%	110.0%	-	10
住宅改修実態調査数（件／年）		7	8		7.3%	8.3%	-	96
＜事業評価＞								
令和3年度	コロナ感染症の影響により現地に行くことを控えたため目標を大きく下回りましたが、ケアプランチェックは、郵便でのやり取りにより年間6事業所に実施し、住宅改修実態調査は、対象を絞り込み年間7件実施しました。							
令和4年度	ケアプランチェックは、郵便でのやり取りにより、目標を上回る年間11事業所に実施し、住宅改修実態調査は、コロナ感染症の影響により現地に行くことを控えたため目標を大きく下回りましたが、対象を絞り込み年間8件実施しました。							

【資料 1 ③】

事業NO	3-2-2	介護サービス事業者等への指導・監督						
基本計画の位置づけ		3-2 的確で質の高いサービスの提供						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
介護サービス事業者等への実地指導数（件）		14	38		34.1%	92.7%	-	41
《事業評価》								
令和3年度		新型コロナウイルス感染症の流行のため、計画よりも低い数値に留まった（12法人14事業所20サービス）。 実地指導には含まれないが、書面での指導・監督方法の検討を続けており、令和3年度には初めて実施をした（1法人2事業所）。書面指導については、今後も方法の検討を続け、実施件数を増やしていきたい。 なお、愛知県による指導は9法人11事業所15サービスに対して行われた。						
令和4年度		新型コロナウイルス感染症の流行がある中であったため、指導が延期になる場合があったが、概ね計画どおり実地で確認ができた（26法人38事業所57サービス）。 なお、愛知県による指導は17法人27事業所48サービスに対して行われた。						

事業NO	3-2-3	ケアプラン指導研修事業						
基本計画の位置づけ		3-2 的確で質の高いサービスの提供						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
ケアプラン指導研修会開催数（回）		3	4		150.0%	200.0%	-	2
《事業評価》								
令和3年度		介護支援専門員のスキルアップのため、介護支援専門員研修を開催しました。認知症の方への理解や介護報酬改定、ICF視点のアセスメントなど、介護支援専門員のケアマネジメントを考える研修を行い、のべ185人の参加がありました。						
令和4年度		介護支援専門員のスキルアップのため、介護支援専門員研修を開催しました。ICF視点のアセスメントや居宅と包括の連携など、介護支援専門員のケアマネジメントを考える研修を行い、のべ217人の参加がありました。						

事業NO	3-2-4	介護サービス相談員派遣事業						
基本計画の位置づけ		3-2 的確で質の高いサービスの提供						
担当課		高齢福祉課						
《事業の進捗状況》								
区 分		実 績 及 び 計 画 目 標 に 対 す る 比 率					計 画 目 標	
		R 3	R 4	R 5	対計画 R 3	対計画 R 4	対計画 R 5	令和5年度
介護サービス相談員派遣数（回）		0	18		0.0%	3.6%	-	500
介護サービス相談員への相談数（人）		0	84		0.0%	1.6%	-	5,350
《事業評価》								
令和3年度		新型コロナウイルス感染症の影響により、相談活動を行うことができませんでした。						
令和4年度		新型コロナウイルス感染者が縮小傾向となったため、令和5年2月及び3月に施設系の10事業所に対し月1回の訪問を行いました。						

【資料1 ③】

事業NO	3-2-5	介護保険制度趣旨普及事業
基本計画の位置づけ	3-2 的確で質の高いサービスの提供	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	まちかど講座は新型コロナウイルス感染症の影響により依頼がなく、実施しませんでした。各種パンフレットの作成は例年どおり行いました。	
令和4年度	まちかど講座「笑顔であんしん介護保険」を4回実施しました。各種パンフレットの作成は例年どおり行いました。	
《事業評価》		
令和3年度	まちかど講座は新型コロナウイルス感染症の影響により依頼がなく、実施しませんでした。各種パンフレットは例年どおり作成し、市民等に配布しました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により外部との交流が難しかったため、これらのパンフレット類が事業所や団体等の内部研修の資料として活用されました。	
令和4年度	まちかど講座「笑顔であんしん介護保険」を4回実施しました。各種パンフレットの作成は例年どおり行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により外部との交流が難しかったため、これらのパンフレット類が事業所や団体等の内部研修の資料として活用されました。	

事業NO	3-3-1	介護保険・地域包括支援センター運営協議会
基本計画の位置づけ	3-3 介護保険事業の円滑な運営	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	本年度は施設整備について臨時開催があったため、年3回（7月、1月、3月）開催して、介護保険の運営状況管理や高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理を実施しました。なお、3月については、新型コロナウイルス感染症対策として、対面ではなく委員に資料を送付し、意見をいただく形式で開催しました。	
令和4年度	定例の年2回開催（7月、3月）して、介護保険の運営状況管理や高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗管理を実施しました。	
《事業評価》		
令和3年度	介護保険のサービス量の実績値を算出し、計画値との比較を行いました。各種介護保険サービスの進捗状況は概ね計画とおり推移しています。また、高齢者福祉計画の個別事業は、各課の進捗状況について把握し、適正に進捗管理を行うことができました。	
令和4年度	介護保険のサービス量の実績値を算出し、計画値との比較を行いました。各種介護保険サービスの進捗状況は概ね計画とおり推移しています。また、高齢者福祉計画の個別事業は、各課の進捗状況について把握し、適正に進捗管理を行うことができました。	

事業NO	3-3-2	地域密着型サービス運営委員会
基本計画の位置づけ	3-3 介護保険事業の円滑な運営	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	地域密着型サービスの適正な運営の確保を図るため、第三者による委員会を設置。令和3年度は3回実施しましたが、すべての委員会において、新型コロナウイルス感染症対策として、対面ではなく委員に資料を送付し、意見をいただく形式で開催しました。	
令和4年度	地域密着型サービスの適正な運営の確保を図るため、第三者による委員会を設置。令和4年度は4回実施しましたが、うち3回は、新型コロナウイルス感染症対策として、対面ではなく委員に資料を送付し、意見をいただく形式で開催しました。	
《事業評価》		
令和3年度	地域密着型サービスの運営状況の報告及び地域密着型サービス事業所の指定についてご承認をいただきました。	
令和4年度	地域密着型サービスの運営状況の報告及び地域密着型サービス事業所の指定についてご承認をいただきました。	

事業NO	3-3-3	介護保険事業者連絡調整会議
基本計画の位置づけ	3-3 介護保険事業の円滑な運営	
担当課	高齢福祉課	
《事業の進捗状況》		
令和3年度	令和3年度は3月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び予防の観点から会場での開催ではなく、資料を市ウェブサイトに掲載し質問を受け付ける形式で行いました。	
令和4年度	令和4年度は8月及び3月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び予防の観点から会場での開催ではなく、資料を市ウェブサイトに掲載し質問を受け付ける形式で行いました。	
《事業評価》		
令和3年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び予防の観点から会場での開催ではなく、資料を市ウェブサイトに掲載する形式で行いましたが、代替手段を活用し、情報提供に努めました。	
令和4年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び予防の観点から会場での開催ではなく、資料を市ウェブサイトに掲載する形式で行いましたが、代替手段を活用し、情報提供に努めました。	

【資料 1 ③】

事業NO	3-3-4	介護保険利用者負担額軽減措置事業
基本計画の位置づけ	3-3	介護保険事業の円滑な運営
担当課		高齢福祉課
《事業の進捗状況》		
令和3年度		要件を満たし認定を受けた利用者11人に支給しました。
令和4年度		要件を満たし認定を受けた利用者15人に支給しました。
《事業評価》		
令和3年度		所得が低く、生計が困難な人に対し、在宅サービスを利用したときの自己負担を軽減する事業であり、今後必要です。
令和4年度		所得が低く、生計が困難な人に対し、在宅サービスを利用したときの自己負担を軽減する事業であり、今後必要です。

事業NO	3-3-5	社会福祉法人による利用者負担額軽減制度事業
基本計画の位置づけ	3-3	介護保険事業の円滑な運営
担当課		高齢福祉課
《事業の進捗状況》		
令和3年度		要件を満たし認定を受けた利用者44人に支給しました。
令和4年度		要件を満たし認定を受けた利用者58人に支給しました。
《事業評価》		
令和3年度		対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくことが重要です。
令和4年度		対象者の申請漏れを防止するためには、制度内容の周知が重要ですが、利用者だけではなく、ケアマネージャーにも広く周知していくことが重要です。

【資料1④】

あんジョイプラン9

第5章 介護保険事業計画

介護保険事業

(1) 高齢者人口

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	対計画比
総人口	計画	190,211人	190,823人	191,450人	98.72%
	実績	190,155人	189,543人	188,999人	
40歳～64歳人口 (第2号被保険者)	計画	64,417人	64,827人	65,379人	100.10%
	実績	64,306人	64,895人	65,445人	
65歳以上人口 (第1号被保険者)	計画	40,132人	40,700人	41,108人	99.77%
	実績	40,233人	40,700人	41,013人	
前期高齢者数	計画	20,712人	20,783人	20,080人	99.98%
	実績	20,756人	20,762人	20,076人	
後期高齢者数	計画	19,420人	19,917人	21,028人	99.57%
	実績	19,477人	19,938人	20,937人	
高齢化率	計画	21.1%	21.3%	21.5%	101.06%
	実績	21.2%	21.5%	21.7%	

●表注

計画：各年度10月1日における人口の見込数値

実績：各年度10月1日における住民基本台帳及び外国人登録数に基づく数値

前期高齢者：65歳～74歳 後期高齢者：75歳以上

●評価

高齢者人口はほぼ計画値どおりですが、40歳未満人口が推計未満の伸びであるため、高齢化率が相対的に若干上がっています。

また、令和4年10月1日現在の、全国の割合(29.0%)や、愛知県の割合(25.6%)と比較すると、低くなっています。

【資料 1 ④】

(2) 介護保険 3 施設及び居住系サービスの利用者数

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	対計画比
施設サービスの利用者数	計画	839人	793人	796人	93.34%
	実績	770人	770人	743人	
	介護老人福祉施設	計画	468人	470人	92.13%
	実績	459人	460人	433人	
	介護老人保健施設	計画	318人	319人	92.48%
	実績	303人	296人	295人	
	介護療養型医療施設	計画	0人	0人	-
	実績	3人	0人	0人	
	介護医療院	計画	7人	7人	214.29%
	実績	5人	14人	15人	
居住系サービス利用者数（要介護計）	計画	418人	434人	437人	84.67%
	実績	366人	401人	370人	
	特定施設入居者生活介護	計画	49人	52人	59.62%
	実績	42人	36人	31人	
	認知症対応型共同生活介護	計画	240人	240人	88.33%
	実績	213人	229人	212人	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	計画	87人	87人	81.61%
	実績	53人	79人	71人	
	地域密着型介護老人福祉施設	計画	58人	58人	96.55%
	実績	58人	57人	56人	
居住系サービス利用者数（要支援計）	計画	14人	8人	8人	125.00%
	実績	7人	10人	10人	
	介護予防特定施設入居者生活介護	計画	5人	5人	140.00%
	実績	5人	6人	7人	
	介護予防認知症対応型共同生活介護	計画	3人	3人	100.00%
	実績	2人	4人	3人	
総計	計画	1,271人	1,235人	1,241人	90.49%
	実績	1,143人	1,181人	1,123人	

●表注

計画:各年度の利用者見込み数
実績:各年度の10月利用者実績数

●評価

新型コロナウイルス感染症のクラスターの発生により、新規の受け入れを一時的に止めたケースがあるようです。

【資料 1 ④】

(3) 介護給付及び予防給付に係る（居宅）サービス量
 ＜居宅サービス・地域密着型サービス量＞

サービス種類		令和2年度	令和3年度	令和4年度	対計画比
①居宅サービス					
訪問介護	人	計画 7,980 実績 7,648	7,656 7,950	7,992 8,112	101.50%
	回	計画 200,755 実績 244,289	231,050 261,530	241,742 278,310	115.13%
訪問入浴介護	人	計画 1,284 実績 1,227	1,272 1,297	1,332 1,391	104.43%
	回	計画 7,286 実績 6,933	7,829 7,010	8,214 7,392	89.99%
訪問看護	人	計画 4,152 実績 4,194	4,428 4,972	4,680 5,110	109.19%
	回	計画 31,643 実績 34,663	37,243 45,723	39,344 45,589	115.87%
訪問 リハビリテーション	人	計画 1,860 実績 1,594	1,704 1,568	1,776 1,522	85.70%
	回	計画 20,816 実績 17,438	19,643 16,736	20,465 15,345	74.98%
居宅療養管理指導	人	計画 7,776 実績 9,494	9,912 10,175	10,452 10,735	102.71%
	回	計画 15,648 実績 13,711	14,340 13,547	15,048 13,357	88.76%
通所介護	人	計画 189,472 実績 173,310	177,932 168,437	186,804 161,735	86.58%
	回	計画 6,444 実績 4,432	5,292 4,504	5,484 4,436	80.89%
通所 リハビリテーション	人	計画 54,679 実績 38,866	46,134 39,844	47,821 37,255	77.90%
	回	計画 4,776 実績 4,320	4,392 4,593	4,548 4,610	101.36%
短期入所 生活介護	人	計画 51,272 実績 51,379	49,336 53,819	51,119 52,980	103.64%
	日	計画 2,172 実績 1,489	1,896 1,553	1,968 1,462	74.29%
短期入所 療養介護	人	計画 19,349 実績 12,007	16,056 12,099	16,667 11,617	69.70%
	日	計画 22,008 実績 20,628	21,324 20,921	21,996 20,715	94.18%
福祉用具貸与	人	計画 516 実績 317	360 332	372 330	88.71%
	回	計画 420 実績 265	300 254	312 252	80.77%
住宅改修	人	計画 600 実績 522	588 449	624 413	66.19%
	回	計画 35,640 実績 28,643	30,276 29,035	31,020 28,847	92.99%
特定施設入居者 生活介護					
居宅介護支援					

②地域密着型サービス

サービス種類			令和2年度	令和3年度	令和4年度	対計画比
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	人	計画	756	684	732	81.83%
		実績	607	629	599	
地域密着型通所介護	人	計画	4,428	3,408	3,528	89.48%
		実績	3,185	3,116	3,157	
	回	計画	47,027	38,424	39,797	79.29%
		実績	34,801	33,403	31,553	
認知症対応型通所介護	人	計画	348	288	288	87.15%
		実績	241	291	251	
	回	計画	4,042	4,073	4,073	65.75%
		実績	2,755	2,959	2,678	
小規模多機能型 居宅介護	人	計画	948	888	924	78.90%
		実績	835	807	729	
看護小規模多機能型 居宅介護	人	計画	240	120	132	134.85%
		実績	122	152	178	
認知症対応型 共同生活介護	人	計画	2,676	2,880	2,880	93.65%
		実績	2,521	2,541	2,697	
地域密着型特定施設 入居者生活介護	人	計画	1,044	1,044	1,044	85.44%
		実績	611	818	892	
地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	人	計画	696	696	696	100.00%
		実績	703	697	696	

●表注

計画：各年度の年間介護サービス量の見込み数

実績：各年度の年間介護サービス量の実績数

●評価

計画値から10%以上変動があったものは以下のとおりです。

減少：訪問入浴介護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、特定福祉用具販売、住宅改修、特定施設入居者生活介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

増加：訪問介護、訪問看護、看護小規模多機能型居宅介護

【資料 1 ④】

<介護予防サービス・地域密着型介護予防サービス量>

サービス種類			令和2年度	令和3年度	令和4年度	対計画比
①介護予防サービス						
介護予防訪問入浴介護	人	計画	12	12	12	150.00%
		実績	28	11	18	
	回	計画	90	78	78	69.23%
		実績	142	62	54	
介護予防訪問看護	人	計画	708	960	996	148.49%
		実績	981	1,252	1,479	
	回	計画	3,270	5,498	5,711	171.69%
		実績	5,812	8,070	9,805	
介護予防訪問 リハビリテーション	人	計画	444	732	744	82.12%
		実績	637	607	611	
	回	計画	4,337	6,716	6,830	78.90%
		実績	5,750	5,405	5,389	
介護予防居宅療養管理指導	人	計画	516	888	924	124.78%
		実績	913	1,022	1,153	
介護予防通所 リハビリテーション	人	計画	2,496	2,604	2,652	97.29%
		実績	2,524	2,565	2,580	
介護予防短期入所 生活介護	人	計画	180	252	252	114.29%
		実績	227	303	288	
	日	計画	847	1,477	1,477	98.50%
		実績	1,802	1,551	1,455	
介護予防短期入所 療養介護	人	計画	48	72	84	95.24%
		実績	55	55	80	
	日	計画	230	558	604	103.71%
		実績	486	530	626	
介護予防 福祉用具貸与	人	計画	9,612	11,424	12,204	98.38%
		実績	10,582	11,151	12,006	
介護予防 特定福祉用具販売	人	計画	288	228	228	88.60%
		実績	206	200	202	
介護予防住宅改修	人	計画	300	240	264	92.80%
		実績	198	229	245	
介護予防特定施設入居者 生活介護	人	計画	144	60	60	123.33%
		実績	61	74	74	
介護予防支援	人	計画	11,280	12,720	13,188	104.11%
		実績	12,230	12,840	13,730	
②地域密着型介護予防サービス						
介護予防小規模多機能型 居宅介護	人	計画	96	72	84	132.14%
		実績	107	101	111	
介護予防認知症対応型 共同生活介護	人	計画	24	36	36	108.33%
		実績	30	36	39	

●表注

計画：各年度の年間介護予防サービス量の見込み数

実績：各年度の年間介護予防サービス量の実績数

●評価

計画値から10%以上変動があったものは以下のとおりです。

減少：介護予防訪問入浴介護、介護予防訪問リハビリテーション、介護予防特定福祉用具販売

増加：介護予防訪問入浴介護、介護予防訪問看護、介護予防居宅療養管理指導、介護予防短期入所生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護、介護予防小規模多機能型居宅介護

【資料 1 ④】

(4) 給付費等

<総給付費>

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
介護給付費計 (Ⅰ)	計画	9,057,359,000円	8,990,074,000円	9,231,850,000円
	実績	8,404,843,345円	8,602,110,383円	8,547,437,638円
予防給付費計 (Ⅱ)	計画	283,985,000円	331,401,000円	345,223,000円
	実績	315,925,772円	339,876,284円	365,652,512円
総給付費 (合計) (Ⅲ) = (Ⅰ) + (Ⅱ)	計画	9,341,344,000円	9,321,475,000円	9,577,073,000円
	実績	8,720,769,117円	8,941,986,667円	8,913,090,150円

<標準給付費>

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
総給付費 (一定以上所得者 負担の調整後)	計画	9,563,133,000円	9,321,475,000円	9,577,073,000円
	実績	8,720,769,117円	8,941,986,667円	8,913,090,150円
特定入所者介護 サービス費等給付額	計画	293,000,000円	159,238,000円	148,437,000円
	実績	182,401,123円	145,536,266円	122,049,086円
高額介護サービス費 等給付額	計画	172,889,000円	175,000,000円	177,450,000円
	実績	229,973,788円	212,991,438円	184,892,014円
高額医療合算介護 サービス費等給付額	計画	39,049,000円	24,717,000円	25,680,000円
	実績	29,652,853円	31,085,365円	30,401,914円
算定対象 審査支払手数料	計画	6,120,000円	5,399,000円	5,609,000円
	実績	5,401,544円	5,587,058円	5,721,431円
標準給付費見込額	計画	10,074,191,000円	9,685,829,000円	9,934,249,000円
	実績	9,168,198,425円	9,337,186,794円	9,256,154,595円

<地域支援事業費>

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
地域支援事業費	計画	745,335,000円	820,107,000円	833,655,000円
	実績	639,622,486円	665,322,756円	709,361,734円
介護予防・日常生活支援 総合事業費	計画	374,185,000円	401,943,000円	413,799,000円
	実績	299,398,736円	321,513,437円	350,463,276円
包括的支援事業 ・任意事業	計画	371,150,000円	418,164,000円	419,856,000円
	実績	340,223,750円	343,809,319円	358,898,458円

●表注

サービスは各年 3 月から翌年 2 月提供分

●評価

令和 4 年度の介護給付、予防給付サービスに係る総給付費については、計画値に対する実績値の比率は 93.07%となっています。

低所得者に対する補足給付である、特定入所者介護サービス費用や高額介護サービス費等給付費、審査支払手数料等を含めた標準給付費については、計画値に対する実績値は 93.17%となっています。

1 介護保険関連施設

区分	施設種類	整備方針	実施状況（令和4年度末時点） 整備しない場合…その理由
施設	介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	1施設 120人	令和3年度公募により事業者を選定しました。令和6年度開設に向けて建設中です。
	介護老人保健施設	整備しない	必要量に対応できる見込みのため、整備はしない予定です。
	介護療養型医療施設 （療養病棟）	整備しない	介護療養型医療施設は、国の方針により介護医療院への転換を進める予定となっています。広域的な利用も考慮し、医療機関との連携に努めます。
	介護医療院	整備しない	ニーズの把握に努めます。
居宅	特定施設 （定員30人以上）	整備しない	必要量に対応できる見込みのため、整備はしない予定です。
地域密着型	認知症対応型共同生活介護 （グループホーム）	1施設 18人	令和4年度再公募により事業者を選定しました。令和6年度開設に向けて建設中です。
	地域密着型介護老人福祉施設 （地域密着型特別養護老人ホーム）	整備しない	大規模特養を整備するため、小規模特養は整備しない予定です。
	地域密着型特定施設 （定員29人以下）	整備しない	必要量に対応できる見込みのため、整備はしない予定です。
	小規模多機能型居宅介護	整備に努める	未整備の3つの日常生活圏域（東山、北、桜井）について整備に努めます。
	看護小規模多機能型居宅介護	整備に努める	市民ニーズの把握に努めます。 令和4年度、事業者から申請があったため、ヒアリング実施の上で令和6年度開設に向けて建設中です。
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	整備しない	市民ニーズの把握に努めます。
	地域包括支援センター	整備しない	各中学校区に1か所設置しています。そのため、新たな整備はしません。市民・関係機関と連携して、地域の様々な課題を解決できるよう、機能強化に努めます。

2 高齢者福祉施設

施設種類	整備方針	現状（令和4年度末時点）
養護老人ホーム	新たな整備はしない	平成30年度に、社会福祉法人に施設を移譲し、運営を移管しました。合わせて、居室の個室化等の施設改修が行われました。移管後も必要量に対応できています。
福祉センター	新たな整備はしない	各中学校区に1か所、計8か所あるため、新たな施設の整備はしません。
高齢者生きがいセンター (シルバー人材センター)	移転拡充	会員数や仕事の依頼件数の増加に伴い、現施設が手狭になってきています。 令和4年10月に総合福祉センター内へ移転して業務を開始しました。
ケアハウス	新たな整備はしない	新たな施設の整備はせず、市民ニーズの把握に努めます。

1 介護保険の実施状況について

（1）被保険者数・高齢化率

時点	第1号被保険者	第2号被保険者	合計	高齢化率
令和3年4月1日	40,433 人	64,625 人	105,058 人	21.31 %
令和4年4月1日	40,826 人	65,093 人	105,919 人	21.61 %
令和5年4月1日	41,015 人	65,668 人	106,683 人	21.70 %

（2）要介護（要支援）認定者数

ア 認定申請件数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規申請	1,562 件	1,652 件	1,692 件
更新等申請	2,646 件	3,857 件	4,150 件
合計	4,208 件	5,509 件	5,842 件
月平均	351 件	459 件	487 件
介護認定審査会開催数	185 回	216 回	225 回

イ 認定者数

単位：人

区分		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和2年度末	第1号被保険者	1,123	820	1,188	843	583	764	501	5,822
	第2号被保険者	26	44	16	32	19	23	20	180
	合計	1,149	864	1,204	875	602	787	521	6,002
令和3年度末	第1号被保険者	1,169	833	1,197	830	567	764	450	5,810
	第2号被保険者	30	42	11	29	20	25	25	182
	合計	1,199	875	1,208	859	587	789	475	5,992
令和4年度末	第1号被保険者	1,163	860	1,170	779	582	804	483	5,841
	第2号被保険者	30	31	12	29	19	24	24	169
	合計	1,193	891	1,182	808	601	828	507	6,010

2 令和4年度介護保険事業特別会計決算状況（案）について

(1) 歳入

単位：円

科目	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	対前年比
保険料	2,698,627,056	2,698,700,000	2,722,372,845	100.9%
手数料	292,971	51,000	299,270	102.2%
国庫支出金	2,096,753,762	2,110,153,000	2,111,266,595	100.7%
介護給付費負担金	1,792,929,672	1,818,535,000	1,818,535,829	101.4%
調整交付金	51,070,000	61,826,000	61,748,000	120.9%
特別調整交付金	106,000	392,000	392,000	369.8%
地域支援事業交付金（総合事業）	61,695,935	61,829,000	63,004,291	102.1%
地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	135,025,155	133,131,000	133,146,475	98.6%
保険者機能強化推進交付金	25,694,000	17,417,000	17,417,000	67.8%
介護保険保険者努力支援交付金	25,840,000	13,734,000	13,734,000	53.2%
災害時臨時特例補助金	393,000	0	0	0.0%
介護保険事業費補助金	4,000,000	3,289,000	3,289,000	82.2%
支払基金交付金	2,579,930,348	2,591,682,000	2,591,683,831	100.5%
介護給付費交付金	2,501,428,608	2,519,414,000	2,519,414,943	100.7%
地域支援事業交付金	78,501,740	72,268,000	72,268,888	92.1%
県支出金	1,420,413,161	1,403,857,000	1,403,865,544	98.8%
介護給付費負担金	1,315,485,000	1,299,274,000	1,299,274,000	98.8%
地域支援事業交付金（総合事業）	37,415,584	38,018,000	38,018,307	101.6%
地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）	67,512,577	66,565,000	66,573,237	98.6%
財産収入	879,000	2,179,000	2,179,000	247.9%
繰入金	1,673,602,236	1,868,991,000	1,713,480,811	102.4%
介護給付費繰入金	1,166,395,807	1,231,238,000	1,153,730,471	98.9%
地域支援事業繰入金（総合事業）	37,415,584	38,018,000	38,154,817	102.0%
地域支援事業繰入金（包括的支援事業・任意事業）	53,578,820	66,565,000	55,302,197	103.2%
低所得者保険料軽減繰入金	89,627,412	96,000,000	95,251,740	106.3%
その他一般会計繰入金	326,584,613	437,170,000	371,041,586	113.6%
介護給付費準備基金繰入金	0	0	0	-
繰越金	805,142,336	571,326,000	571,326,346	71.0%
諸収入	6,528,791	3,000	26,676,943	408.6%
合計	11,282,169,661	11,246,942,000	11,143,151,185	98.8%
翌年度繰越金	571,326,346	-	595,556,200	104.2%

(2) 歳出

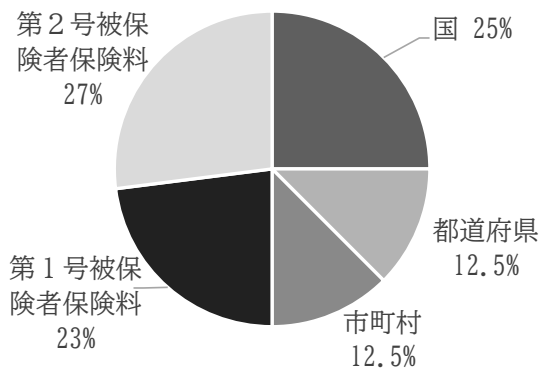
単位：円

科目	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	対前年比
総務費	243,246,292	275,252,000	257,074,891	105.7%
保険給付費	9,337,186,794	9,849,900,000	9,256,154,595	99.1%
居宅介護サービス給付費	3,956,557,858	4,176,000,000	3,948,284,979	99.8%
地域密着型介護サービス給付費	1,654,449,656	1,764,000,000	1,643,132,693	99.3%
施設介護サービス給付費	2,528,296,705	2,643,000,000	2,486,692,456	98.4%
居宅介護サービス計画給付費	462,806,164	492,000,000	469,327,510	101.4%
介護予防サービス給付費	264,401,953	304,000,000	281,641,479	106.5%
地域密着型介護予防サービス給付費	14,623,314	20,000,000	18,103,116	123.8%
介護予防サービス計画給付費	60,851,017	69,000,000	65,907,917	108.3%
審査支払手数料等	5,587,058	6,500,000	5,721,431	102.4%
高額介護サービス等費	212,991,438	199,600,000	184,892,014	86.8%
高額医療合算介護サービス等費	31,085,365	37,300,000	30,401,914	97.8%
特定入所者介護サービス等費	145,536,266	138,500,000	122,049,086	83.9%
地域支援事業費	665,322,756	794,879,000	709,361,734	106.6%
介護予防・生活支援サービス事業費	275,866,971	331,399,000	300,600,397	109.0%
一般介護予防事業費	45,084,420	60,523,000	49,264,172	109.3%
包括的支援事業費・任意事業費	343,809,319	402,257,000	358,898,458	104.4%
その他諸費	562,046	700,000	598,707	106.5%
介護給付費準備基金積立金	358,879,000	202,179,000	202,179,000	56.3%
諸支出金	106,208,473	124,732,000	122,824,765	115.6%
合計	10,710,843,315	11,246,942,000	10,547,594,985	98.5%

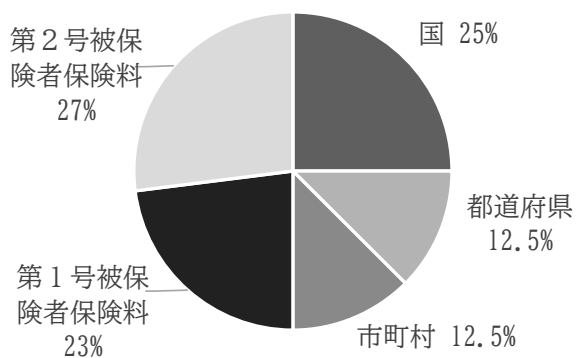
基金保有額（令和5年5月末現在）	947,466,000円
------------------	--------------

(3) 各事業の財源割合

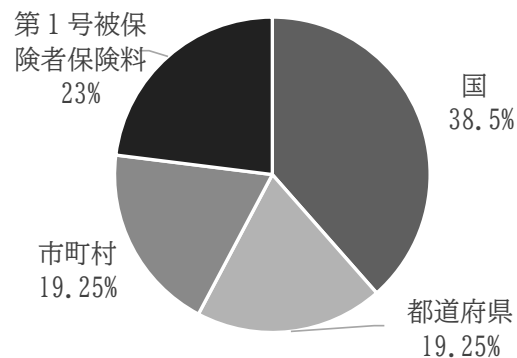
保険給付費



介護予防・日常生活支援総合事業



包括的支援事業・任意事業



1 相談業務

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
総合相談支援	件	18,889	1,785	3,330	2,897	2,763	1,292	1,079	2,822	2,921
権利擁護	件	1,067	20	206	151	78	47	33	347	185
包括的・継続的ケアマネジメント支援	件	3,102	346	227	349	296	534	627	505	218
介護予防ケアマネジメント	件	45,761	5,503	11,820	2,507	10,749	4,488	3,374	2,342	4,978
計	件	68,819	7,654	15,583	5,904	13,886	6,361	5,113	6,016	8,302

2 相談方法

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
電 話	件	34,902	2,243	11,919	1,929	5,278	3,405	2,674	3,315	4,139
来 所	件	2,322	164	545	550	224	260	103	200	276
訪 問	件	15,847	2,680	1,906	1,722	2,302	1,756	1,581	1,600	2,300
連絡調整	件	15,748	2,567	1,213	1,703	6,082	940	755	901	1,587
計	件	68,819	7,654	15,583	5,904	13,886	6,361	5,113	6,016	8,302

3 相談事業実績

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
延相談件数	件	68,819	7,654	15,583	5,904	13,886	6,361	5,113	6,016	8,302
相談実人数	人	19,147	2,708	3,169	2,811	3,240	2,236	1,043	1,673	2,267
うち新規相談人数	人	4,657	535	947	679	657	511	404	367	557
時間外相談件数	件	631	29	262	74	235	3	1	11	16
虐待事例相談	件数	715	27	195	108	48	10	18	160	149
	実人数	84	6	24	14	9	4	6	5	16
成年後見事例	件数	39	0	7	25	5	1	0	1	0
	実人数	14	0	2	7	3	1	0	1	0

4 会議（保健・医療・福祉等の関係機関や団体の関係者との連絡調整に関する会議等）

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
地域ケア会議	地域ケア個別会議 計	回	198	24	20	30	38	13	22	37
	地域ケア個別会議（困難ケース）	回	85	3	16	19	2	9	5	21
	地域ケア個別会議（自立支援検討）	回	113	21	4	11	36	4	17	16
	地域ケア地区会議	回	26	2	3	4	2	2	7	4
	地域ケア推進会議	回	8	0	0	0	8	0	0	0
保健福祉部会	回	79	10	10	10	10	9	10	10	10
生活支援ネットワーク会議	回	34	2	8	2	2	3	3	4	10
上記以外の会議	回	1,006	137	110	119	110	148	148	121	113

5 介護支援専門員への支援

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
サービス担当者会議出席件数	件	218	31	28	28	20	20	18	35	38
相談対応及び助言・指導	件	871	78	258	100	69	13	74	201	78

6 在宅医療サポートセンターへの相談（在宅医療・介護連携推進事業関連）

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
相談件数	件	14	0	3	2	1	1	0	1	6

7 生活支援コーディネーターとの連絡調整（生活支援体制整備事業関連）

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
連絡調整回数	回	677	23	79	189	109	15	48	139	75

8 認知症初期集中支援チームへの依頼件数（認知症総合支援事業関連）

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
依頼件数	件	130	33	25	1	14	1	10	13	33

9 介護予防ケアマネジメント

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
要支援（請求数）	包括直接	件	10,757	1,550	1,877	1,293	1,872	1,148	686	683
	業務委託	件	3,302	309	312	257	297	481	613	484
	合計	件	14,059	1,859	2,189	1,550	2,169	1,629	1,299	1,232
ケアマネジメントA（請求数）	包括直接	件	4,504	691	741	613	991	462	402	139
	業務委託	件	813	77	48	95	43	89	215	129
	合計	件	5,317	768	789	708	1,034	551	617	268
暫定プラン	件	223	28	75	7	32	37	4	2	38
基本チェックリスト実施数	件	403	26	72	61	91	43	77	6	27
サービス担当者会議	回	2,178	335	501	213	374	209	123	128	295

10 福祉サービス事後検証

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
給食サービス	件	5	1	0	0	0	1	2	1	0
住宅改修	件	33	14	4	1	5	5	1	3	0
ベッドレンタル	件	4	1	0	0	0	1	0	2	0

11 その他

		全体	さとまち	中部	八千代	更生	松井	あんのん館	ひがしばた	小川の里
地域活動等参加	回	641	122	61	115	17	37	135	58	96
研修会開催・参加	回	381	70	51	73	19	40	55	34	39

令和4年度地域包括支援センター事業の決算状況(案)

センター名	担当地区	当初予算額(円)	決算額(円)	精算額(円)
さとまち	東山	22,500,000	16,761,874	5,738,126
中部	安城北	29,600,000	28,575,766	1,024,234
八千代	篠目	22,500,000	19,915,938	2,584,062
更生	安城南	29,600,000	29,600,000	0
松井	安祥	22,500,000	14,600,980	7,899,020
あんのん館	安城西	22,000,000	16,493,303	5,506,697
ひがしばた	明祥	22,000,000	21,661,397	338,603
小川の里	桜井	22,500,000	22,500,000	0
合 計		193,200,000	170,109,258	23,090,742

内訳: 人件費及び事務費

【資料3-2】

【資料4】

介護予防支援業務の一部委託について

(R5年2月からR5年5月末までの新規分)

安城市地域包括支援センターさとまち(東山中学校区)

	地 区	事 業 所 名	件 数
1	安城市	居宅介護支援事業所えぞか福祉かふえ	1

安城市地域包括支援センター松井(安祥中学校区)

	地 区	事 業 所 名	件 数
1	安城市	ケアプランセンターみどりオレンジグループ	1

安城市地域包括支援センター小川の里(桜井中学校区)

	地 区	事 業 所 名	件 数
1	安城市	ケアプランセンターゆうゆう三河安城	1

(参考)委託契約事業所数及び件数

契約事業所数 27事業所(市内23事業所 市外4事業所)

センター名	契約事業所数	契約件数
さとまち	9	32
中部	11	30
八千代	13	34
更生	12	29
松井	13	41
あんのん館	12	64
ひがしばた	6	39
小川の里	8	47

316